

# 災害時における防災情報収集等に係る市民意識調査 調査結果報告書

---

令和7年1月  
鹿児島市

# 目次

I. 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 概要.....	1
(3) 留意事項.....	1
(4) 回答者の属性.....	2
II. アンケート調査結果.....	4
1. 防災情報の入手方法等について.....	4
(1) よく利用する情報通信機器.....	4
(2) 防災情報を最初に知る手段.....	6
(3) 災害時の防災情報の入手方法.....	9
(4) 鹿児島市提供サービスのうち登録、保有、フォロー等しているサービス.....	12
(5) 「一斉架電システム」の有効性.....	15
2. 防災行政無線の屋外スピーカーについて.....	17
(1) 時報放送の聞こえ具合.....	17
(2) 時報放送の必要性.....	19
(3) 試験・訓練放送の聞こえ具合.....	21
(4) 大雨や台風の際における放送の聞こえ具合.....	23
(5) 防災行政無線の屋外スピーカー設置の必要性.....	25
3. 戸別受信機について.....	29
(1) 戸別受信機の活用（聴取）.....	29
(2) 戸別受信機で取得する情報の種類.....	31
(3) 戸別受信機入れ替え時の受領希望.....	33
4. 備蓄・非常持出品について.....	36
(1) 備蓄状況.....	36
(2) 備蓄品目（予定含む）.....	38
(3) 備蓄しない理由.....	40
5. 災害時の避難について.....	42
(1) ハザードマップの確認.....	42
(2) 災害時の避難場所.....	45
(3) 避難判断のきっかけ.....	47
6. その他（ご意見、ご要望など）.....	49
(1) 本アンケートや鹿児島市の防災への取組に関するご意見、ご要望.....	49
III. 巻末資料.....	53
1. 調査票.....	53

# I. 調査の概要

---

## (1) 調査の目的

災害時における防災情報の取得手段等に係る市民の認識や行動についてのデータを収集及び分析し、市の取組に活用するため実施するもの。

## (2) 概要

### ア. 調査期間

令和6年7月17日(水)～令和6年8月13日(火)

### イ. 調査対象者

鹿児島市の住民基本台帳から無作為抽出した5,000人

### ウ. 有効回答数(有効回答率)

2,272人(45.4%)

※有効回答数とは、何も書いていない回答や実情に合わない回答(すべて1を選択するなど)を除いた回答数のこと。

### エ. 調査方法

書面又はインターネットによる回答

### オ. 調査項目

巻末の調査票を参照

### カ. 調査機関

調査主体：鹿児島市 危機管理局 危機管理課

調査協力(受託業者)：株式会社サーベイリサーチセンター 南九州事務所

## (3) 留意事項

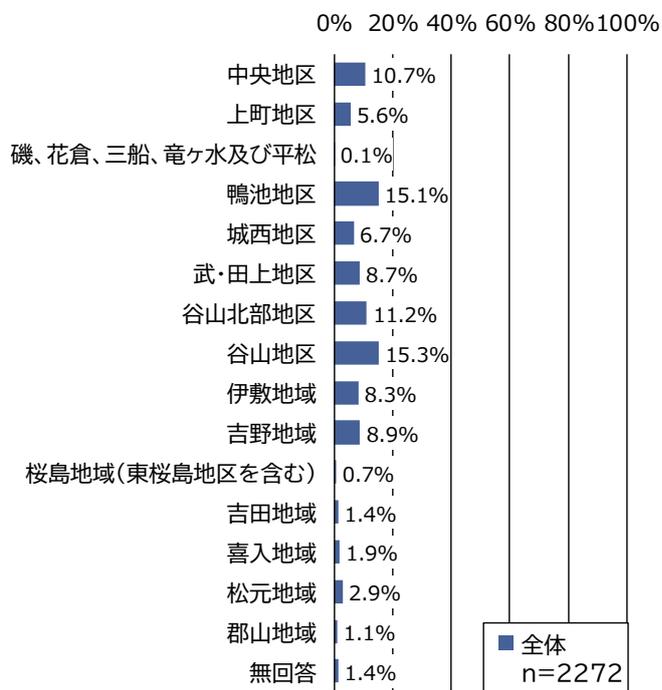
- 数表、図表、文中に示すnは、その質問に対する有効回答数である。
- 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合がある。
- 2つ以上の回答を要する(複数回答)質問の集計については、項目別に、基数(標本数)に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、数表、図表に示す各項目の回答の合計比率が100.0%を超える場合がある。
- 数表・図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるため詳細は巻末の調査票を参照のこと。
- 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』としている。
- 属性別の分析においてサンプル数(標本数)が少ないものについては、分析コメントを割愛する場合がある。(本報告書では回答者数が10人以下の場合はコメントを割愛している)
- 居住地②の区分において、「旧鹿児島市」は、中央地区、上町地区、鴨池地区、城西地区、武・田上地区、谷山地区、谷山北部地区、伊敷地域、吉野地域、磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松を指す。「合併5町域等」は、吉田地域、桜島地域(東桜島地域を含む)、喜入地域、松元地域、郡山地域を指す。

#### (4) 回答者の属性

##### ア. 居住地

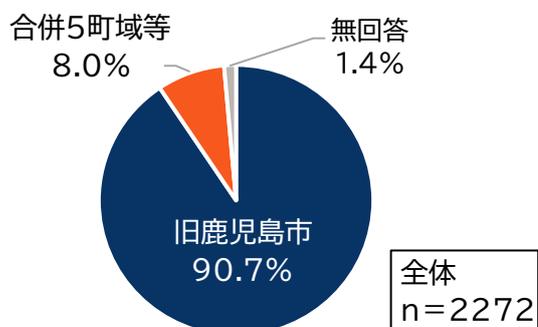
###### ● 居住地①

区分	件数	構成比(%)
中央地区	242	10.7%
上町地区	128	5.6%
磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松	2	0.1%
鴨池地区	343	15.1%
城西地区	153	6.7%
武・田上地区	197	8.7%
谷山北部地区	255	11.2%
谷山地区	348	15.3%
伊敷地域	189	8.3%
吉野地域	203	8.9%
桜島地域(東桜島地区を含む)	15	0.7%
吉田地域	32	1.4%
喜入地域	44	1.9%
松元地域	66	2.9%
郡山地域	24	1.1%
無回答	31	1.4%
合計	2272	100.0%



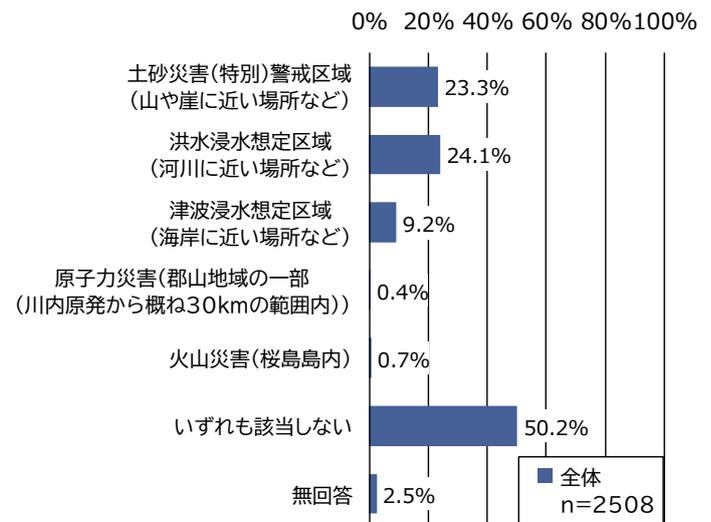
###### ● 居住地②

区分	件数	構成比(%)
旧鹿児島市	2060	90.7%
合併5町域等	181	8.0%
無回答	31	1.4%
合計	2272	100.0%



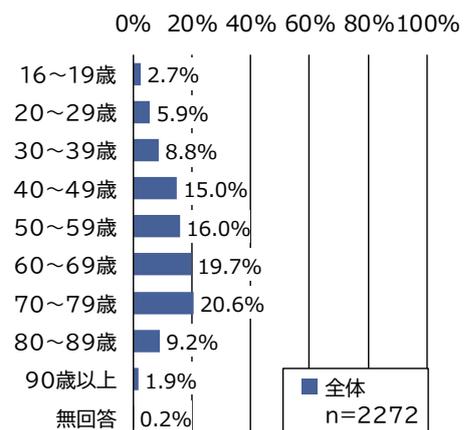
## イ. 居住地の災害リスク[複数回答]

区分	件数	構成比(%)
土砂災害(特別)警戒区域 (山や崖に近い場所など)	530	23.3%
洪水浸水想定区域 (河川に近い場所など)	547	24.1%
津波浸水想定区域 (海岸に近い場所など)	210	9.2%
原子力災害(郡山地域の一部 (川内原発から概ね30kmの範囲内))	9	0.4%
火山災害(桜島島内)	15	0.7%
いずれも該当しない	1140	50.2%
無回答	57	2.5%
合計	2508	110.4%



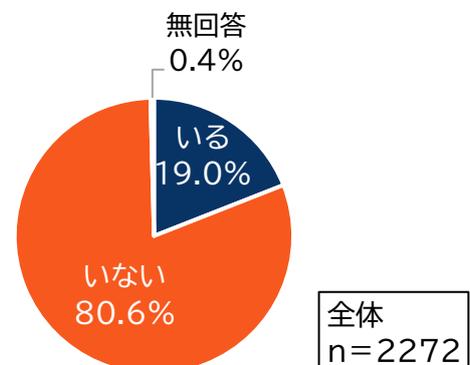
## ウ. 年齢

区分	件数	構成比(%)
16~19歳	61	2.7%
20~29歳	135	5.9%
30~39歳	200	8.8%
40~49歳	340	15.0%
50~59歳	364	16.0%
60~69歳	447	19.7%
70~79歳	468	20.6%
80~89歳	209	9.2%
90歳以上	44	1.9%
無回答	4	0.2%
合計	2272	100.0%



## エ. 自力避難困難者の有無

区分	件数	構成比(%)
いる	432	19.0%
いない	1831	80.6%
無回答	9	0.4%
合計	2272	100.0%



## II. アンケート調査結果

### 1. 防災情報の入手方法等について

#### (1) よく利用する情報通信機器

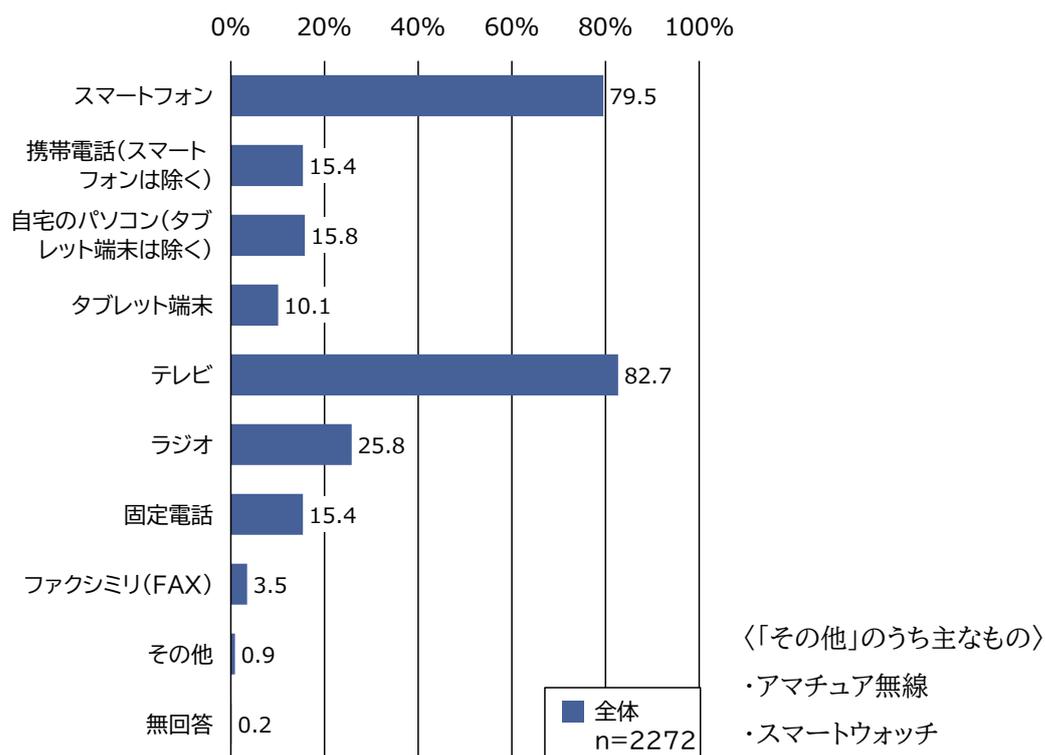
問5\_あなたが保有し日常よく利用する情報通信機器について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「テレビ」が82.7%と最も割合が高く、次いで「スマートフォン」が79.5%、「ラジオ」が25.8%となっている。

「テレビ」に関しては、16～19歳を除き各年代で70%以上が利用している。

「スマートフォン」と「携帯電話」の重複利用(45人)を考慮すると、「スマートフォン」と「携帯電話」のいずれかまたは両方を利用する割合は、全体で93.0%となっている。また、80歳以上においては、30%以上が「固定電話」を利用している。

図1：よく利用する情報通信機器【複数回答】



回答者数

全体	スマートフォン	携帯電話(スマートフォンは除く)	自宅のパソコン(タブレット端末は除く)	タブレット端末	テレビ	ラジオ	固定電話	ファクシミリ(FAX)	その他	無回答
2272	1807	351	359	229	1878	587	351	79	21	5
100.0	79.5	15.4	15.8	10.1	82.7	25.8	15.4	3.5	0.9	0.2

表1：よく利用する情報通信機器〔複数回答〕（クロス集計）

		全体	スマートフォン	携帯電話（スマートフォンは除く）	自宅のパソコン（タブレット端末は除く）	タブレット端末	テレビ	ラジオ	固定電話	Xファクシミリ（FAX）	その他	無回答
全体		2272	1807	351	359	229	1878	587	351	79	21	5
		100.0	79.5	15.4	15.8	10.1	82.7	25.8	15.4	3.5	0.9	0.2
居住地①	中央地区	242	79.8	14.0	20.2	14.0	77.7	18.2	11.2	2.9	0.4	-
	上町地区	128	78.1	17.2	16.4	11.7	83.6	22.7	14.1	3.9	0.8	-
	磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	鴨池地区	343	82.5	16.3	16.0	11.7	81.9	21.0	13.1	3.5	0.3	-
	城西地区	153	83.0	12.4	20.9	11.1	90.2	32.0	16.3	3.9	1.3	0.7
	武・田上地区	197	79.2	15.7	11.7	7.6	86.8	26.9	16.8	2.5	3.0	-
	谷山北部地区	255	82.0	14.1	20.4	9.4	86.7	25.1	17.3	3.5	2.0	0.8
	谷山地区	348	79.3	12.9	15.8	11.5	81.9	27.0	16.1	3.7	-	-
	伊敷地域	189	82.0	14.3	11.1	5.3	82.5	22.8	15.3	2.6	-	-
	吉野地域	203	79.3	15.8	13.8	9.4	79.3	34.0	16.7	4.4	1.0	-
	桜島地域	15	53.3	53.3	-	-	80.0	33.3	20.0	6.7	-	-
	吉田地域	32	65.6	28.1	12.5	9.4	84.4	25.0	15.6	6.3	3.1	-
	喜入地域	44	63.6	27.3	18.2	13.6	84.1	38.6	15.9	4.5	-	-
	松元地域	66	84.8	10.6	12.1	6.1	74.2	25.8	13.6	4.5	1.5	-
	郡山地域	24	75.0	16.7	8.3	8.3	79.2	29.2	25.0	-	-	-
無回答	31	48.4	29.0	3.2	-	83.9	51.6	32.3	-	3.2	3.2	
居住地②	旧鹿児島市	2060	80.6	14.7	16.3	10.4	82.9	25.1	15.1	3.4	0.9	0.2
	合併5町域等	181	72.4	22.1	12.2	8.3	79.6	29.8	16.6	4.4	1.1	-
	無回答	31	48.4	29.0	3.2	-	83.9	51.6	32.3	-	3.2	3.2
居住地の災害リスク	土砂災害（特別）警戒区域	530	82.6	13.8	14.9	10.6	82.8	23.2	14.7	3.0	1.7	0.2
	洪水浸水想定区域	547	84.1	12.4	19.6	14.1	82.8	22.5	13.2	2.4	0.2	-
	津波浸水想定区域	210	80.5	16.2	23.3	14.3	79.5	26.2	12.4	3.8	0.5	-
	原子力災害	9	77.8	22.2	-	-	77.8	33.3	33.3	-	-	-
	火山災害（桜島島内）	15	53.3	53.3	-	-	80.0	33.3	20.0	6.7	-	-
	いずれも該当しない	1140	78.5	16.1	14.6	8.2	83.3	27.7	16.4	4.2	1.0	0.3
	無回答	57	47.4	35.1	8.8	3.5	80.7	38.6	15.8	-	-	1.8
年齢	16～19歳	61	95.1	4.9	21.3	34.4	57.4	6.6	4.9	-	-	-
	20～29歳	135	93.3	4.4	17.8	12.6	70.4	9.6	3.0	-	0.7	-
	30～39歳	200	96.0	4.5	16.5	13.5	70.5	7.0	2.0	0.5	-	-
	40～49歳	340	95.9	4.7	16.8	15.0	80.3	18.8	6.2	1.2	0.9	-
	50～59歳	364	90.7	9.3	15.1	12.9	84.3	26.4	11.8	3.8	0.3	-
	60～69歳	447	82.6	14.3	19.2	9.2	85.2	27.3	13.6	3.6	1.1	0.2
	70～79歳	468	64.7	26.1	15.0	3.4	90.4	37.2	27.6	6.8	0.9	0.2
	80～89歳	209	43.5	38.8	9.1	3.8	87.1	39.7	31.6	5.7	2.9	1.0
	90歳以上	44	20.5	34.1	2.3	2.3	86.4	36.4	45.5	-	2.3	2.3
	無回答	4	75.0	25.0	25.0	-	75.0	25.0	-	-	-	-
世帯における自力避難困難者の有無	いる	432	74.3	17.8	14.4	12.0	83.8	28.0	16.0	3.5	1.9	0.2
	いない	1831	80.9	14.9	16.2	9.6	82.4	25.3	15.3	3.5	0.7	0.2
	無回答	9	44.4	22.2	11.1	11.1	88.9	22.2	11.1	-	-	11.1

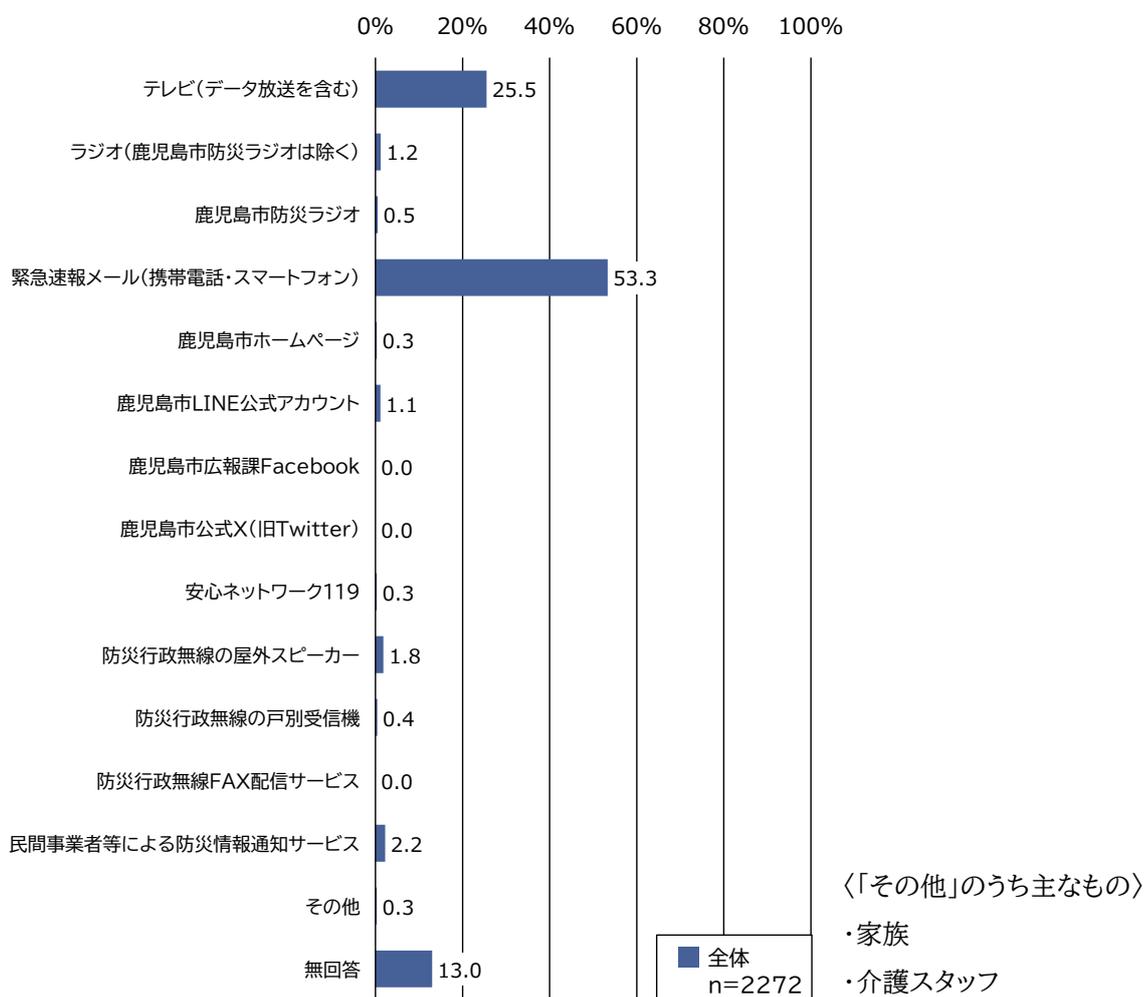
## (2) 防災情報を最初に知る手段

問6 防災情報(避難情報、緊急地震速報等)を最初に知る手段として、あてはまる番号1つに○をつけてください。

「緊急速報メール(携帯電話・スマートフォン)」が53.3%と最も割合が高く、次いで「テレビ(データ放送を含む)」が25.5%、「民間事業者等による防災情報通知サービス」が2.2%となっている。

年齢別にみると、16～69歳までは「緊急速報メール(携帯電話・スマートフォン)」を最初に知る手段とする割合が50%以上であるのに対し、70歳以上では「テレビ(データ放送を含む)」が30%以上となっている。一方、「防災行政無線の屋外スピーカー」を最初に知る手段とする割合は1.8%となっている。

図2-1：防災情報を最初に知る手段（市全体）



### 回答者数

手段	回答者数	割合 (%)
全体	2272	100.0
テレビ(データ放送を含む)	579	25.5
ラジオ(鹿児島市防災ラジオは除く)	27	1.2
鹿児島市防災ラジオ	12	0.5
緊急速報メール(携帯電話・スマートフォン)	1212	53.3
鹿児島市ホームページ	6	0.3
鹿児島市LINE公式アカウント	26	1.1
鹿児島市広報課Facebook	-	-
鹿児島市公式X(旧Twitter)	-	-
安心ネットワーク119	6	0.3
防災行政無線の屋外スピーカー	42	1.8
防災行政無線の戸別受信機	10	0.4
防災行政無線FAX配信サービス	-	-
民間事業者等による防災情報通知サービス	51	2.2
その他	6	0.3
無回答	295	13.0

図2-2：防災情報を最初に知る手段（旧鹿児島市）

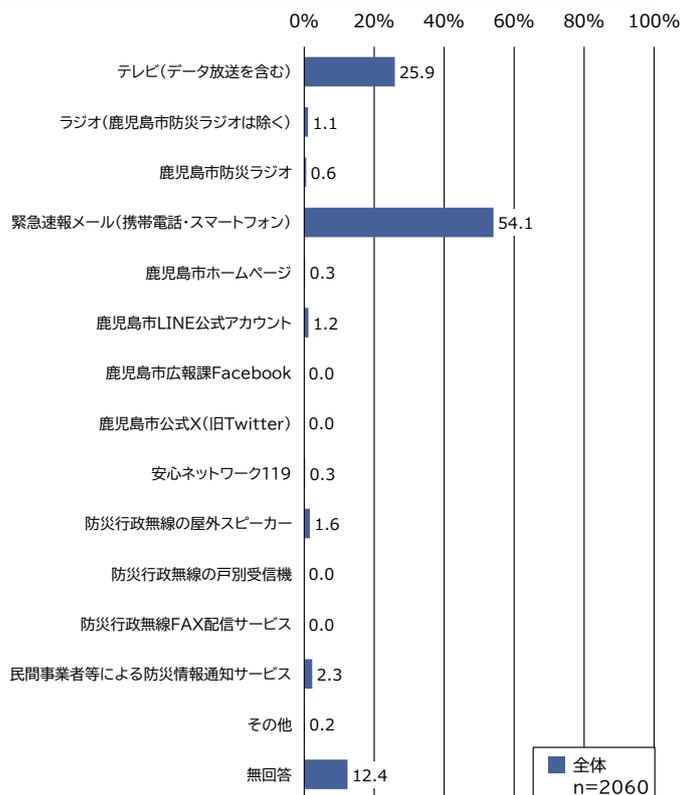


図2-3：防災情報を最初に知る手段（合併5町域等）

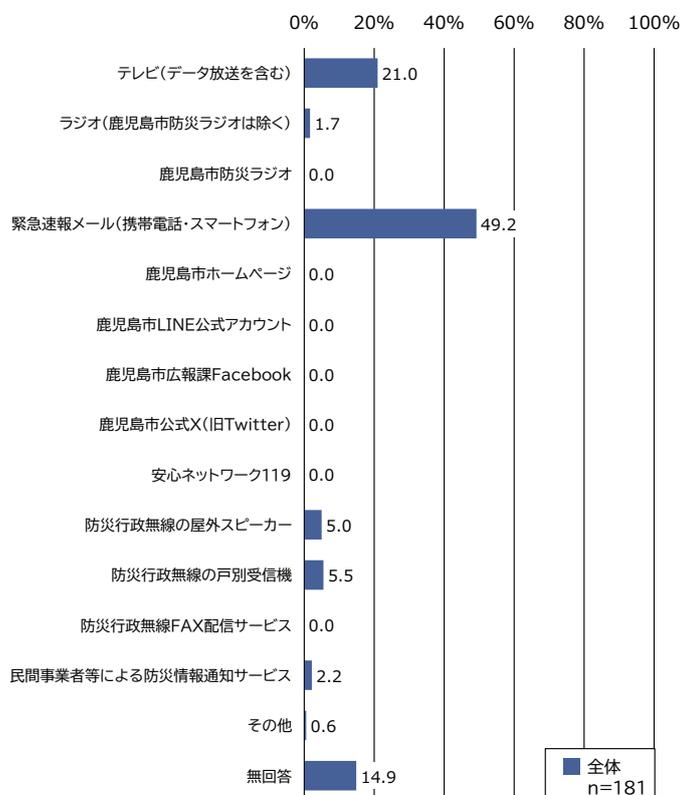


表2：防災情報を最初に知る手段（クロス集計）

		全体	テレビ 含む (データ放送を 除く)	ラジ オ(鹿 児島 市防 災ラ ジオ は除 く)	鹿 児 島 市 防 災 ラ ジ オ	緊 急 速 報 ス マ ー ト フ ォ ン	緊 急 速 報 ス マ ー ト フ ォ ン	鹿 児 島 市 ホ ー ム ペ ー ジ	ア カ ウ ン ト	鹿 児 島 市 L I N E 公 式	鹿 児 島 市 広 報 課 F a c e b o o k	鹿 児 島 市 公 式 X (旧 T w i t t e r)	9 安 心 ネ ッ ト ワ ー ク 1 1	防 災 行 政 無 線 の 屋 外 ス ピー カ ー	信 機 防 災 行 政 無 線 の 戸 別 受	信 機 防 災 行 政 無 線 の 戸 別 受	防 災 行 政 無 線 F A X 配 信	防 災 行 政 無 線 F A X 配 信	民 間 事 業 者 等 に よ る 防 災 情 報 通 知 サ ー ビ ス	そ の 他	無 回 答		
全体		2272	579	27	12	1212	6	26	-	-	6	42	10	-	51	6	295						
		100.0	25.5	1.2	0.5	53.3	0.3	1.1	-	-	0.3	1.8	0.4	-	2.2	0.3	13.0						
居住地①	中央地区	242	26.4	1.7	-	51.2	0.4	2.1	-	-	0.4	1.7	-	-	4.5	0.4	11.2						
	上町地区	128	28.1	1.6	0.8	51.6	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	1.6	-	14.8						
	磯、花倉、三船、 竜ヶ水及び平松	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0					
	鴨池地区	343	27.1	1.2	0.3	51.9	0.6	0.9	-	-	0.3	1.7	-	-	3.5	-	12.5						
	城西地区	153	28.1	1.3	-	57.5	-	0.7	-	-	-	-	-	-	0.7	-	11.8						
	武・田上地区	197	26.4	1.0	1.0	54.3	-	0.5	-	-	-	-	3.6	-	1.0	1.0	11.2						
	谷山北部地区	255	17.3	0.4	0.8	62.4	-	1.6	-	-	0.4	2.0	-	-	0.8	0.4	14.1						
	谷山地区	348	27.0	0.9	0.9	52.0	0.3	0.9	-	-	0.3	0.9	-	-	3.4	-	13.5						
	伊敷地域	189	28.0	1.6	-	52.9	0.5	2.6	-	-	0.5	1.6	-	-	2.6	-	9.5						
	吉野地域	203	26.6	1.0	1.5	54.7	-	1.0	-	-	0.5	2.0	-	-	-	0.5	12.3						
	桜島地域	15	13.3	-	-	40.0	-	-	-	-	-	6.7	-	-	6.7	-	33.3						
	吉田地域	32	18.8	-	-	46.9	-	-	-	-	-	9.4	9.4	-	3.1	-	12.5						
	喜入地域	44	31.8	4.5	-	43.2	-	-	-	-	-	4.5	6.8	-	2.3	-	6.8						
	松元地域	66	19.7	1.5	-	57.6	-	-	-	-	-	1.5	4.5	-	1.5	-	13.6						
	郡山地域	24	12.5	-	-	45.8	-	-	-	-	-	8.3	4.2	-	4.2	-	25.0						
無回答	31	22.6	3.2	-	29.0	-	3.2	-	-	-	3.2	-	-	-	-	38.7							
居住地②	旧鹿児島市	2060	25.9	1.1	0.6	54.1	0.3	1.2	-	-	0.3	1.6	-	-	2.3	0.2	12.4						
	合併5町域等	181	21.0	1.7	-	49.2	-	-	-	-	-	5.0	5.5	-	2.2	0.6	14.9						
	無回答	31	22.6	3.2	-	29.0	-	3.2	-	-	-	3.2	-	-	-	-	38.7						
居住地の 災害リス ク	土砂災害(特別)警戒区域	530	22.6	0.6	0.8	56.4	0.4	1.7	-	-	0.6	2.5	0.8	-	1.3	0.4	12.1						
	洪水浸水想定区域	547	24.3	1.1	0.2	53.9	0.2	0.7	-	-	-	2.4	0.5	-	3.1	0.4	13.2						
	津波浸水想定区域	210	24.8	1.4	-	51.4	0.5	1.4	-	-	-	3.8	0.5	-	3.3	-	12.9						
	原子力災害	9	11.1	-	-	22.2	-	-	-	-	-	-	11.1	-	11.1	-	44.4						
	火山災害(桜島島内)	15	13.3	-	-	40.0	-	-	-	-	-	6.7	-	-	6.7	-	33.3						
	いずれも該当しない	1140	26.5	1.3	0.6	53.7	0.2	1.1	-	-	0.3	1.5	0.3	-	2.2	0.2	12.3						
無回答	57	42.1	1.8	-	24.6	-	1.8	-	-	-	-	-	-	-	-	29.8							
年齢	16~19歳	61	21.3	1.6	-	65.6	-	-	-	-	-	1.6	-	-	6.6	-	3.3						
	20~29歳	135	26.7	0.7	-	54.8	1.5	1.5	-	-	1.5	1.5	-	-	3.7	-	8.1						
	30~39歳	200	22.0	0.5	-	61.0	0.5	3.0	-	-	-	0.5	-	6.0	1.0	5.5							
	40~49歳	340	15.9	0.3	-	65.3	-	2.6	-	-	0.6	2.4	0.3	-	5.0	0.3	7.4						
	50~59歳	364	17.3	0.8	-	64.0	0.8	1.6	-	-	0.5	1.1	-	-	1.6	-	12.1						
	60~69歳	447	23.0	0.4	1.3	60.4	-	0.2	-	-	-	0.7	0.4	-	1.1	-	12.3						
	70~79歳	468	32.3	1.9	1.3	40.4	-	0.2	-	-	-	2.8	0.9	-	0.4	-	19.9						
	80~89歳	209	43.1	3.3	-	25.8	-	0.5	-	-	-	4.3	1.0	-	-	0.5	21.5						
	90歳以上	44	54.5	4.5	-	13.6	-	-	-	-	-	4.5	-	-	4.5	-	18.2						
	無回答	4	25.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0						
世帯におけ る自力避難 困難者の 有無	いる	432	25.5	0.5	0.2	53.2	0.2	1.2	-	-	0.5	3.2	0.2	-	1.9	0.9	12.5						
	いない	1831	25.5	1.4	0.5	53.5	0.3	1.1	-	-	0.2	1.5	0.5	-	2.3	0.1	13.0						
	無回答	9	22.2	-	11.1	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3						

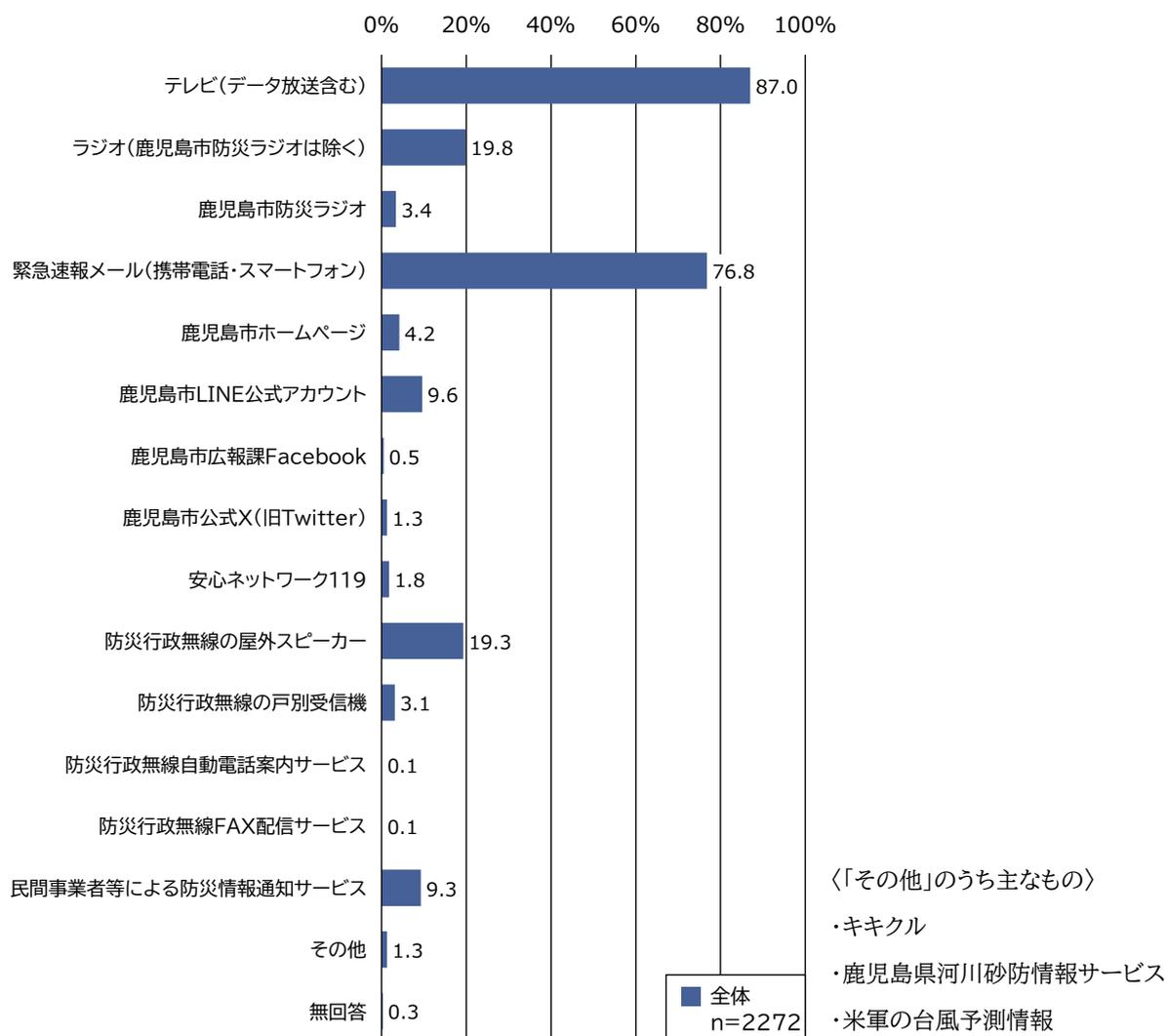
### (3) 災害時の防災情報の入手方法

問7 大雨や台風などの災害時に、どの方法で防災情報(避難情報、緊急地震速報等)を入手しているかについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「テレビ(データ放送含む)」が87.0%と最も割合が高く、次いで「緊急速報メール(携帯電話・スマートフォン)」が76.8%、「ラジオ(3の鹿児島市防災ラジオは除く)」が19.8%となっている。

また、合併5町域等においては、「防災行政無線の戸別受信機」で防災情報を入手している人は38.1%となっている。

図3-1：災害時の防災情報の入手方法〔複数回答〕(市全体)



#### 回答者数

全体	テレビ(データ放送含む)	ラジオ(鹿児島市防災ラジオは除く)	鹿児島市防災ラジオ	緊急速報メール(携帯電話)	鹿児島市ホームページ	鹿児島市LINE公式	鹿児島市広報課Facebook	鹿児島市公式X(旧Twitter)	安心ネットワーク119	防災行政無線の屋外スピーカー	防災行政無線の戸別受信機	防災行政無線自動電話案内サービス	防災行政無線FAX配信サービス	民間事業者等による防災情報通知サービス	その他	無回答
2272	1977	449	78	1745	96	217	11	30	42	438	70	2	2	212	29	7
100.0	87.0	19.8	3.4	76.8	4.2	9.6	0.5	1.3	1.8	19.3	3.1	0.1	0.1	9.3	1.3	0.3

図3-2：災害時の防災情報の入手方法〔複数回答〕（旧鹿児島市）

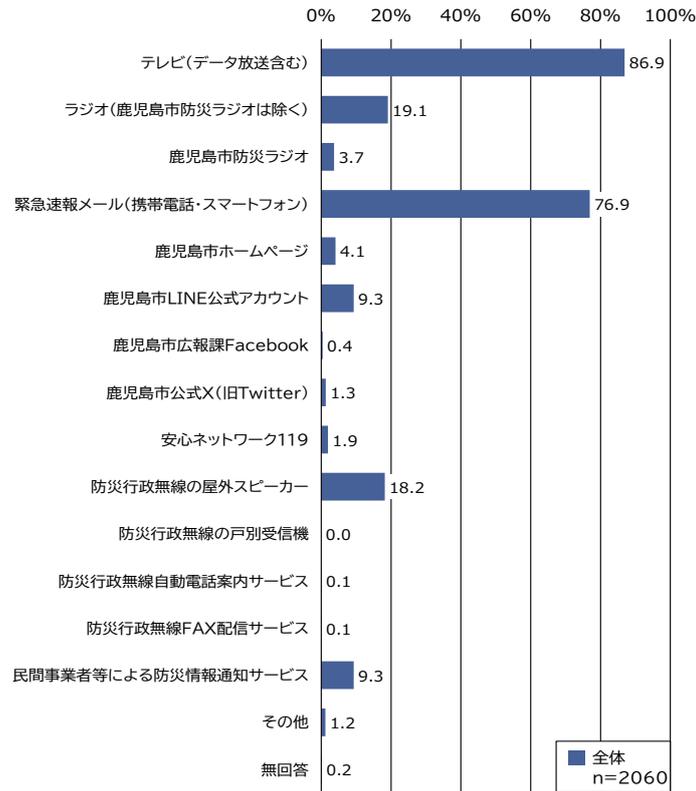


図3-3：災害時の防災情報の入手方法〔複数回答〕（合併5町域等）

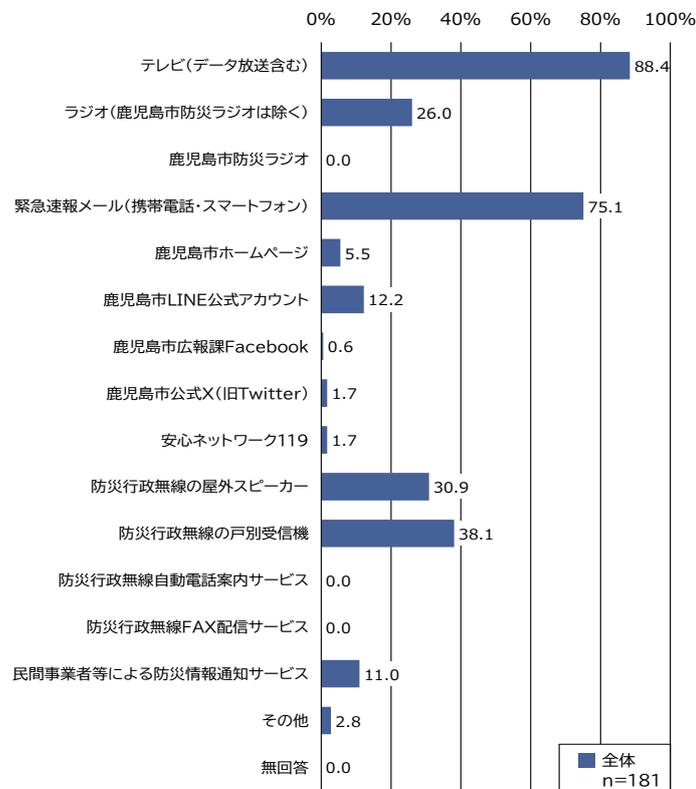


表3：災害時の防災情報の入手方法〔複数回答〕（クロス集計）

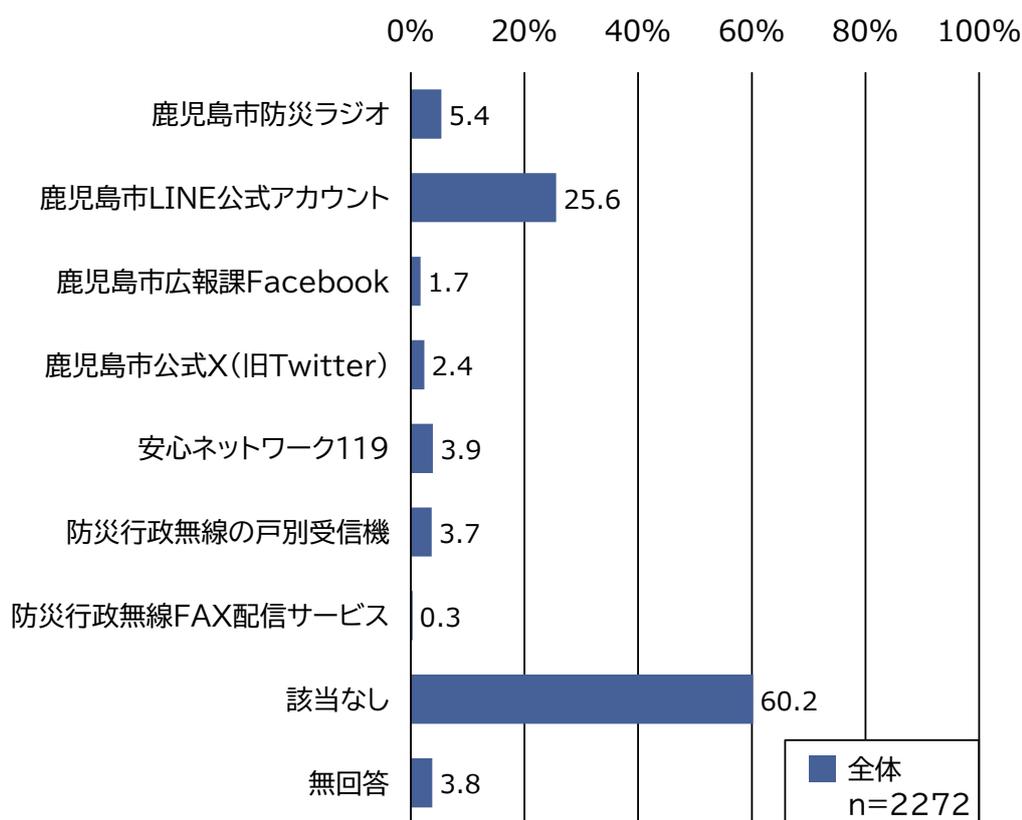
		全体	テレビ（データ放送含）	ラジオ（鹿児島市防災ラジオは除く）	鹿児島市防災ラジオ	緊急速報メール（携帯・スマートフォン）	鹿児島市ホームページ	アカウント	鹿児島市LINE公式	鹿児島市広報課Facebook	鹿児島市公式X（旧Twitter）	9安心ネットワーク11	防災行政無線の屋外スピーカー	防災行政無線の戸別受信機	防災行政無線の自動電話	防災行政無線FAX配	民間事業者等による防災情報サービス	その他	無回答
全体		2272	1977	449	78	1745	96	217	11	30	42	438	70	2	2	212	29	7	
		100.0	87.0	19.8	3.4	76.8	4.2	9.6	0.5	1.3	1.8	19.3	3.1	0.1	0.1	9.3	1.3	0.3	
居住地①	中央地区	242	83.1	13.2	2.1	76.0	5.8	8.3	1.2	1.2	2.9	9.5	-	-	-	11.6	1.7	-	
	上町地区	128	86.7	18.8	5.5	73.4	3.1	10.2	-	-	3.9	17.2	-	-	-	6.3	1.6	-	
	磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	鴨池地区	343	86.6	15.7	2.6	76.7	4.4	10.8	-	1.7	0.6	15.5	-	-	0.3	9.6	0.3	-	
	城西地区	153	92.2	22.2	3.3	86.3	9.2	9.8	0.7	2.0	2.0	17.6	-	-	-	9.2	0.7	0.7	
	武・田上地区	197	92.9	23.4	4.6	76.6	2.0	10.7	-	1.5	3.0	22.8	-	-	-	8.6	2.0	-	
	谷山北部地区	255	87.8	19.6	4.7	83.5	5.1	11.8	-	1.2	1.6	26.3	-	-	-	10.6	0.8	0.8	
	谷山地区	348	83.9	19.3	2.9	73.9	2.6	4.9	0.9	1.1	0.6	17.8	-	0.3	-	7.8	1.1	-	
	伊敷地域	189	88.4	20.1	1.6	77.2	2.1	9.0	0.5	1.6	2.6	21.2	-	0.5	0.5	12.7	1.1	-	
	吉野地域	203	85.2	23.6	7.9	71.4	3.4	10.8	0.5	1.0	2.5	17.2	-	-	-	6.9	2.0	0.5	
	桜島地域	15	93.3	20.0	-	66.7	-	13.3	6.7	-	-	40.0	53.3	-	-	26.7	-	-	
	吉田地域	32	84.4	25.0	-	78.1	9.4	15.6	-	3.1	-	37.5	40.6	-	-	9.4	3.1	-	
	喜入地域	44	90.9	45.5	-	70.5	9.1	9.1	-	-	2.3	43.2	38.6	-	-	11.4	4.5	-	
	松元地域	66	84.8	13.6	-	77.3	4.5	13.6	-	3.0	1.5	18.2	28.8	-	-	9.1	1.5	-	
郡山地域	24	95.8	29.2	-	79.2	-	8.3	-	-	4.2	29.2	50.0	-	-	8.3	4.2	-		
無回答	31	87.1	29.0	6.5	77.4	6.5	9.7	3.2	-	-	25.8	3.2	-	-	-	-	6.5		
居住地②	旧鹿児島市	2060	86.9	19.1	3.7	76.9	4.1	9.3	0.4	1.3	1.9	18.2	-	0.1	0.1	9.3	1.2	0.2	
	合併5町域等	181	88.4	26.0	-	75.1	5.5	12.2	0.6	1.7	1.7	30.9	38.1	-	-	11.0	2.8	-	
	無回答	31	87.1	29.0	6.5	77.4	6.5	9.7	3.2	-	-	25.8	3.2	-	-	-	-	6.5	
居住地の災害リスク	土砂災害（特別）警戒区域	530	84.0	18.9	2.6	76.2	3.8	11.1	-	0.6	2.3	19.8	4.3	-	-	11.1	1.5	0.2	
	洪水浸水想定区域	547	87.9	15.7	2.7	77.3	5.1	9.5	0.4	1.5	2.2	17.9	1.6	-	-	11.5	1.6	0.2	
	津波浸水想定区域	210	86.2	17.1	2.4	75.2	6.2	11.4	0.5	2.9	1.0	21.9	2.4	-	-	14.3	1.4	-	
	原子力災害	9	88.9	44.4	-	77.8	-	-	-	-	-	33.3	77.8	-	-	-	11.1	-	
	火山災害（桜島島内）	15	93.3	20.0	-	66.7	-	13.3	6.7	-	-	40.0	53.3	-	-	26.7	-	-	
	いずれも該当しない	1140	88.1	21.8	3.9	76.9	4.0	9.1	0.6	1.5	1.8	19.2	2.6	0.2	0.2	7.9	0.9	0.2	
無回答	57	89.5	26.3	3.5	66.7	1.8	1.8	1.8	-	1.8	19.3	1.8	-	-	1.8	1.8	5.3		
年齢	16～19歳	61	73.8	3.3	-	70.5	4.9	4.9	-	3.3	-	14.8	-	-	-	16.4	-	-	
	20～29歳	135	74.1	7.4	0.7	68.9	3.7	13.3	-	3.7	-	11.1	3.7	-	-	14.8	2.2	-	
	30～39歳	200	79.0	6.0	2.0	72.0	6.5	13.5	-	2.0	2.5	9.5	1.0	-	-	17.5	4.0	-	
	40～49歳	340	80.9	12.1	1.2	81.5	7.4	16.5	-	2.1	3.8	18.2	3.8	-	0.3	17.9	1.2	-	
	50～59歳	364	88.2	19.0	2.5	81.3	6.0	12.6	0.5	2.2	2.7	16.5	1.4	0.3	-	10.2	0.8	-	
	60～69歳	447	90.6	21.9	3.8	82.1	4.3	7.8	-	0.4	1.8	19.0	3.8	-	0.2	8.3	0.7	0.2	
	70～79歳	468	93.6	29.7	6.6	79.9	1.3	6.0	0.6	0.2	1.1	27.6	3.6	-	-	2.6	0.6	0.4	
	80～89歳	209	91.9	32.1	4.8	61.2	0.5	1.4	2.4	0.5	0.5	24.4	4.3	-	-	1.4	1.0		
	90歳以上	44	90.9	22.7	4.5	47.7	-	2.3	2.3	-	-	15.9	4.5	2.3	-	4.5	4.5		
無回答	4	75.0	25.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-		
世帯における自力避難困難者の有無	いる	432	88.2	20.8	3.2	70.8	4.2	9.5	0.5	1.2	2.3	22.5	2.3	-	0.2	9.3	2.8	0.5	
	いない	1831	86.8	19.6	3.5	78.3	4.2	9.6	0.5	1.4	1.7	18.6	3.3	0.1	0.1	9.4	0.9	0.2	
	無回答	9	77.8	11.1	-	55.6	22.2	-	-	-	-	11.1	-	-	-	-	-	11.1	

#### (4) 鹿児島市提供サービスのうち登録、保有、フォロー等しているサービス

問8 鹿児島市が提供するサービスのうち、あなたが登録、保有またはフォロー等しているサービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「該当なし」が60.2%と最も割合が高く、次いで「鹿児島市LINE公式アカウント」が25.6%、「鹿児島市防災ラジオ」が5.4%となっている。

図4-1：鹿児島市提供サービスのうち登録、保有、フォロー等しているサービス【複数回答】  
(市全体)



#### 回答者数

全体	鹿児島市防災ラジオ	鹿児島市LINE公式アカウント	鹿児島市広報課Facebook	鹿児島市公式X(旧Twitter)	安心ネットワーク119	防災行政無線の戸別受信機	防災行政無線FAX配信サービス	該当なし	無回答
2272	123	582	38	54	88	83	6	1367	87
100.0	5.4	25.6	1.7	2.4	3.9	3.7	0.3	60.2	3.8

図4-2：鹿児島市提供サービスのうち登録、保有、フォロー等しているサービス【複数回答】  
(旧鹿児島市)

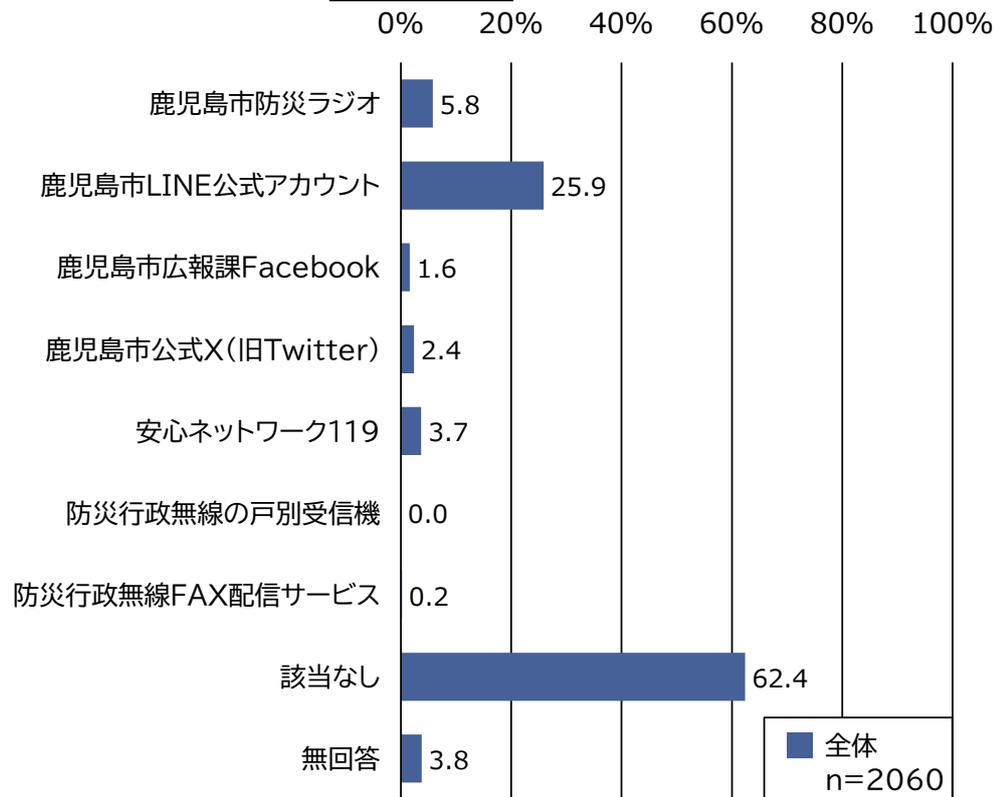


図4-3：鹿児島市提供サービスのうち登録、保有、フォロー等しているサービス【複数回答】  
(合併5町域等)

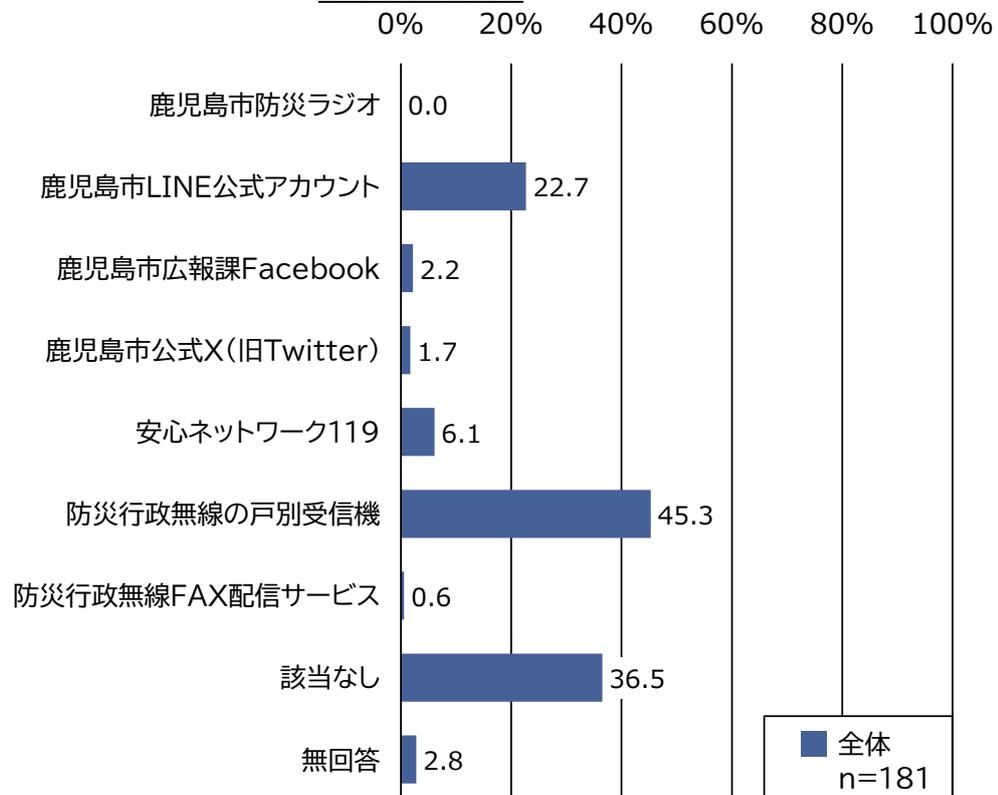


表4：鹿児島市提供サービスのうち登録、保有、フォロー等しているサービス〔複数回答〕  
(クロス集計)

		全体	鹿児島市防災ラジオ	ア鹿児島市LINE公式	e鹿児島市広報課Facbook	w鹿児島市公式X(旧Twitter)	9安心ネットワーク11	信防災行政無線の戸別受信機	信防災行政無線FAX配	該当なし	無回答
全体		2272	123	582	38	54	88	83	6	1367	87
		100.0	5.4	25.6	1.7	2.4	3.9	3.7	0.3	60.2	3.8
居住地①	中央地区	242	2.5	26.0	1.7	3.3	4.5	-	0.4	64.5	2.9
	上町地区	128	3.9	25.0	1.6	1.6	4.7	-	0.8	60.2	6.3
	磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
	鴨池地区	343	3.5	23.9	1.2	2.0	3.2	-	0.3	67.9	2.3
	城西地区	153	5.9	25.5	2.0	3.3	3.3	-	-	61.4	3.3
	武・田上地区	197	10.7	25.4	2.0	3.6	4.1	-	-	58.9	2.5
	谷山北部地区	255	7.5	29.8	1.2	2.7	4.3	-	-	58.4	3.9
	谷山地区	348	5.5	24.1	2.0	2.9	2.6	-	-	64.1	4.3
	伊敷地域	189	5.8	22.2	2.1	1.1	4.2	-	0.5	63.5	7.4
	吉野地域	203	8.4	32.5	1.0	1.0	3.4	-	-	57.6	2.5
	桜島地域	15	-	20.0	6.7	-	6.7	53.3	-	26.7	-
	吉田地域	32	-	21.9	6.3	-	3.1	46.9	3.1	40.6	3.1
	喜入地域	44	-	13.6	2.3	2.3	2.3	50.0	-	38.6	-
	松元地域	66	-	30.3	-	3.0	10.6	34.8	-	37.9	1.5
	郡山地域	24	-	20.8	-	-	4.2	58.3	-	29.2	12.5
無回答	31	12.9	22.6	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	48.4	12.9	
居住地②	旧鹿児島市	2060	5.8	25.9	1.6	2.4	3.7	-	0.2	62.4	3.8
	合併5町域等	181	-	22.7	2.2	1.7	6.1	45.3	0.6	36.5	2.8
	無回答	31	12.9	22.6	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	48.4	12.9
居住地の災害リスク	土砂災害(特別)警戒区域	530	4.0	28.5	1.1	2.5	4.7	5.7	0.2	55.5	4.0
	洪水浸水想定区域	547	3.8	26.1	2.0	2.7	3.8	1.5	0.4	63.1	2.7
	津波浸水想定区域	210	1.4	28.1	1.9	3.8	2.4	3.3	0.5	61.0	2.9
	原子力災害	9	-	11.1	-	-	-	55.6	-	44.4	-
	火山災害(桜島島内)	15	-	20.0	6.7	-	6.7	53.3	-	26.7	-
	いずれも該当しない	1140	6.1	24.7	1.8	2.1	3.7	3.2	0.2	62.5	3.0
	無回答	57	14.0	12.3	1.8	-	5.3	1.8	1.8	47.4	24.6
年齢	16～19歳	61	1.6	13.1	-	4.9	1.6	-	-	80.3	-
	20～29歳	135	1.5	29.6	0.7	4.4	-	3.0	-	63.7	-
	30～39歳	200	1.0	37.5	0.5	5.0	5.0	2.0	0.5	54.5	1.0
	40～49歳	340	1.8	38.8	0.3	1.8	8.5	2.9	-	53.2	1.5
	50～59歳	364	1.6	32.7	1.4	3.6	3.8	1.6	0.3	60.2	1.4
	60～69歳	447	5.6	23.7	0.7	1.8	3.6	4.7	0.2	63.3	3.1
	70～79歳	468	11.1	17.5	3.0	1.5	3.4	5.3	0.4	58.1	7.3
	80～89歳	209	12.0	8.1	5.7	0.5	1.0	5.3	0.5	64.1	9.6
	90歳以上	44	2.3	2.3	2.3	-	-	4.5	-	75.0	15.9
	無回答	4	75.0	50.0	-	-	-	-	-	25.0	-
世帯における自力避難困難者の有無	いる	432	5.3	23.1	2.5	2.1	3.9	3.0	0.5	63.7	4.2
	いない	1831	5.3	26.2	1.5	2.5	3.9	3.8	0.2	59.6	3.5
	無回答	9	33.3	33.3	-	-	-	-	-	11.1	44.4

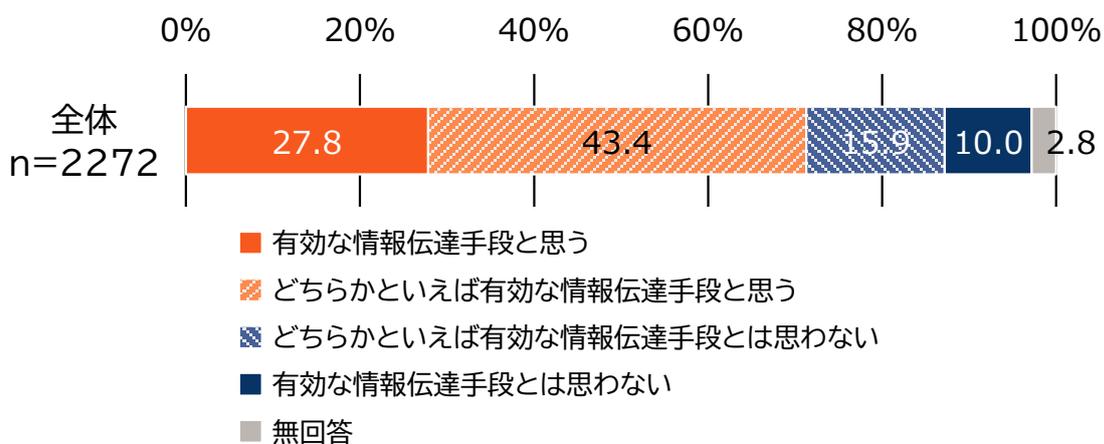
### (5) 「一斉架電システム」の有効性

問9 他都市で導入されているサービスに「一斉架電システム」というものがありますが、これについてどう思われますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「どちらかといえば有効な情報伝達手段と思う」が43.4%と最も割合が高く、次いで「有効な情報伝達手段と思う」が27.8%、「どちらかといえば有効な情報伝達手段とは思わない」が15.9%となっている。

年代別で見ると、90歳以上を除く各年代で概ね70%程度が「(どちらかといえば)有効な情報伝達手段と思う」と回答している。

図5：「一斉架電システム」の有効性



回答者数

全体	有効な情報伝達手段と思う	どちらかといえば有効な情報伝達手段と思う	どちらかといえば有効な情報伝達手段とは思わない	有効な情報伝達手段とは思わない	無回答
2272	632	986	362	228	64
100.0	27.8	43.4	15.9	10.0	2.8

#### 【参考】一斉架電システム

一斉架電システムとは、登録メールやFAX配信サービスのように、あらかじめ登録された電話番号(自宅の固定電話や携帯電話・スマートフォン)に対し、災害時に避難情報等を合成音声(機械音声)で届けるサービスのこと。

スマートフォン等を保有しない方などに対して効果的な伝達手段である一方、登録者は多くなればなるほど、情報伝達にかなりの時間を要することとなる。

表5：「一斉架電システム」の有効性（クロス集計）

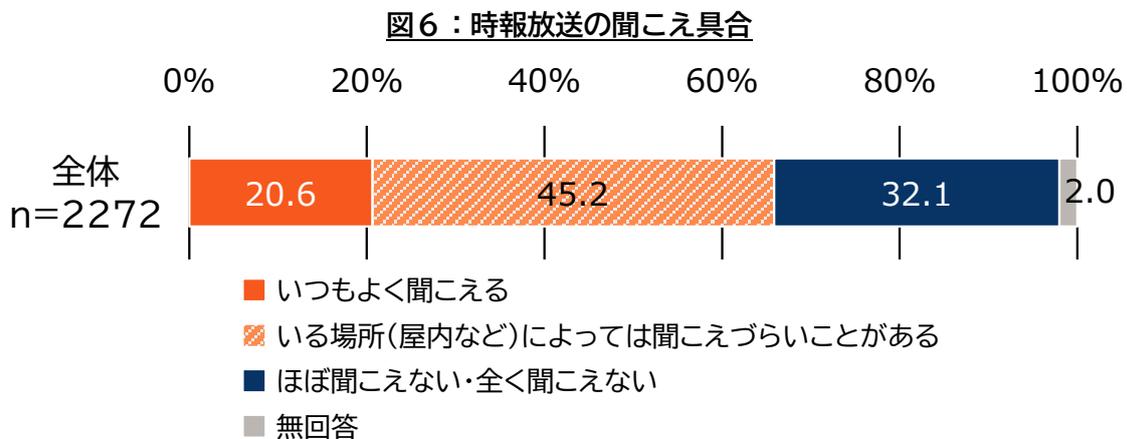
		全体	有効な情報伝達手段と 思う	どちらかといえば有効 な情報伝達手段と思う	どちらかといえば有効 な情報伝達手段とは思 わない	有効な情報伝達手段と は思わない	無回答	『有効な手段と 思う』計	『有効な手段と 思わない』計
全体		2272	632	986	362	228	64	1618	590
		100.0	27.8	43.4	15.9	10.0	2.8	71.2	25.9
居住地①	中央地区	242	31.4	43.0	16.1	7.9	1.7	74.4	24.0
	上町地区	128	24.2	42.2	20.3	9.4	3.9	66.4	29.7
	磯、花倉、三船、 竜ヶ水及び平松	2	50.0	-	-	50.0	-	50.0	50.0
	鴨池地区	343	28.9	48.1	14.9	7.3	0.9	77.0	22.2
	城西地区	153	26.8	48.4	10.5	12.4	2.0	75.2	22.9
	武・田上地区	197	22.8	45.2	16.8	12.2	3.0	68.0	29.0
	谷山北部地区	255	25.9	43.1	17.6	10.2	3.1	69.0	27.8
	谷山地区	348	25.3	44.5	15.8	10.6	3.7	69.8	26.4
	伊敷地域	189	28.6	43.4	13.2	11.1	3.7	72.0	24.3
	吉野地域	203	28.1	41.9	15.3	11.8	3.0	70.0	27.1
	桜島地域	15	33.3	40.0	13.3	13.3	-	73.3	26.6
	吉田地域	32	37.5	28.1	25.0	9.4	-	65.6	34.4
	喜入地域	44	36.4	31.8	20.5	4.5	6.8	68.2	25.0
	松元地域	66	34.8	34.8	16.7	13.6	-	69.6	30.3
	郡山地域	24	25.0	41.7	25.0	8.3	-	66.7	33.3
	無回答	31	38.7	19.4	16.1	6.5	19.4	58.1	22.6
居住地②	旧鹿児島市	2060	27.1	44.6	15.6	10.1	2.7	71.7	25.7
	合併5町域等	181	34.3	34.3	19.9	9.9	1.7	68.6	29.8
	無回答	31	38.7	19.4	16.1	6.5	19.4	58.1	22.6
居住地の 災害リス ク	土砂災害(特別)警戒区域	530	30.8	42.8	14.2	10.2	2.1	73.6	24.4
	洪水浸水想定区域	547	26.5	45.2	16.5	10.8	1.1	71.7	27.3
	津波浸水想定区域	210	26.7	48.1	16.2	8.6	0.5	74.8	24.8
	原子力災害	9	22.2	55.6	22.2	-	-	77.8	22.2
	火山災害(桜島島内)	15	33.3	40.0	13.3	13.3	-	73.3	26.6
	いずれも該当しない	1140	27.2	42.7	16.1	10.7	3.2	69.9	26.8
	無回答	57	33.3	31.6	17.5	1.8	15.8	64.9	19.3
年齢	16～19歳	61	29.5	49.2	18.0	3.3	-	78.7	21.3
	20～29歳	135	28.1	48.9	12.6	9.6	0.7	77.0	22.2
	30～39歳	200	18.0	48.5	22.0	11.5	-	66.5	33.5
	40～49歳	340	18.5	48.8	20.3	11.8	0.6	67.3	32.1
	50～59歳	364	21.7	51.4	16.8	9.6	0.5	73.1	26.4
	60～69歳	447	32.4	39.8	16.8	9.2	1.8	72.2	26.0
	70～79歳	468	34.2	40.0	10.9	10.9	4.1	74.2	21.8
	80～89歳	209	39.2	30.1	11.5	8.6	10.5	69.3	20.1
	90歳以上	44	25.0	22.7	22.7	6.8	22.7	47.7	29.5
無回答	4	-	50.0	-	50.0	-	50.0	50.0	
世帯における 自力避難 困難者の 有無	いる	432	28.7	39.4	16.4	11.8	3.7	68.1	28.2
	いない	1831	27.7	44.3	15.9	9.6	2.5	72.0	25.5
	無回答	9	11.1	55.6	-	11.1	22.2	66.7	11.1

## 2. 防災行政無線の屋外スピーカーについて

### (1) 時報放送の聞こえ具合

問10\_日頃の防災行政無線の屋外スピーカーからの時報放送の聞こえ具合について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(屋内の防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等からの放送の聞こえ具合は含みません。)

「いる場所(屋内など)によっては聞こえづらいことがある」が45.2%と最も割合が高く、次いで「ほぼ聞こえない・全く聞こえない」が32.1%、「いつもよく聞こえる」が20.6%となっている。



#### 回答者数

全体	いつもよく聞こえる	いる場所(屋内など)によっては聞こえづらいことがある	ほぼ聞こえない・全く聞こえない	無回答
2272	468	1028	730	46
100.0	20.6	45.2	32.1	2.0

#### 【参考】防災行政無線の屋外スピーカーからの時報放送

	放送時間	放送する地域	
		本庁、谷山・伊敷・吉野支所管内	吉田・桜島・喜入・松元・郡山支所管内
時報(昼) 鹿児島市民歌	正午		○
時報(夕方) 夕焼け小焼け	午後5時 (1~6月、9~12月)	○	○
	午後6時 (7~8月)	○	○

表6：時報放送の聞こえ具合（クロス集計）

		全体	いつもよく聞こえる	いよつとよく聞こえる	聞こえない	無回答
全体		2272	468	1028	730	46
		100.0	20.6	45.2	32.1	2.0
居住地①	中央地区	242	13.2	38.4	44.6	3.7
	上町地区	128	17.2	43.8	36.7	2.3
	磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松	2	-	50.0	50.0	-
	鴨池地区	343	15.7	39.1	42.3	2.9
	城西地区	153	15.0	39.9	41.8	3.3
	武・田上地区	197	21.8	47.7	28.4	2.0
	谷山北部地区	255	21.6	52.5	25.1	0.8
	谷山地区	348	22.7	48.0	27.9	1.4
	伊敷地域	189	21.7	51.3	24.9	2.1
	吉野地域	203	22.2	44.8	32.0	1.0
	桜島地域	15	26.7	66.7	6.7	-
	吉田地域	32	40.6	37.5	21.9	-
	喜入地域	44	43.2	47.7	6.8	2.3
	松元地域	66	31.8	45.5	22.7	-
	郡山地域	24	37.5	45.8	12.5	4.2
無回答	31	25.8	51.6	22.6	-	
居住地②	旧鹿児島市	2060	19.1	45.0	33.7	2.1
	合併5町域等	181	36.5	46.4	16.0	1.1
	無回答	31	25.8	51.6	22.6	-
居住地の災害リスク	土砂災害(特別)警戒区域	530	20.8	47.5	30.0	1.7
	洪水浸水想定区域	547	17.2	44.6	36.0	2.2
	津波浸水想定区域	210	16.7	41.9	40.0	1.4
	原子力災害	9	55.6	33.3	11.1	-
	火山災害(桜島島内)	15	26.7	66.7	6.7	-
	いずれも該当しない	1140	22.5	44.1	31.5	1.8
	無回答	57	24.6	40.4	28.1	7.0
年齢	16～19歳	61	24.6	62.3	13.1	-
	20～29歳	135	20.0	59.3	20.7	-
	30～39歳	200	24.0	43.0	32.5	0.5
	40～49歳	340	20.6	44.4	34.4	0.6
	50～59歳	364	19.2	41.5	38.2	1.1
	60～69歳	447	17.4	47.4	33.8	1.3
	70～79歳	468	24.1	44.0	27.1	4.7
	80～89歳	209	21.1	40.2	34.9	3.8
	90歳以上	44	6.8	40.9	45.5	6.8
	無回答	4	-	50.0	50.0	-
世帯における自力避難困難者の有無	いる	432	20.8	46.5	30.6	2.1
	いない	1831	20.6	44.9	32.5	2.0
	無回答	9	-	55.6	33.3	11.1

## (2) 時報放送の必要性

問11 日頃の防災行政無線の屋外スピーカーからの時報放送について、あてはまる番号に○をつけてください。

旧鹿児島市においては、「夕方(午後5時または午後6時)の時報は放送してほしい」が49.3%、「時報は放送しなくてもよい」が43.3%となっている。

合併5町域等においては、「時報は放送しなくてもよい」が24.3%である一方、昼または夕方の時報を放送してほしい方の割合が7割以上となっている。

図7-1：時報放送の必要性  
(旧鹿児島市)

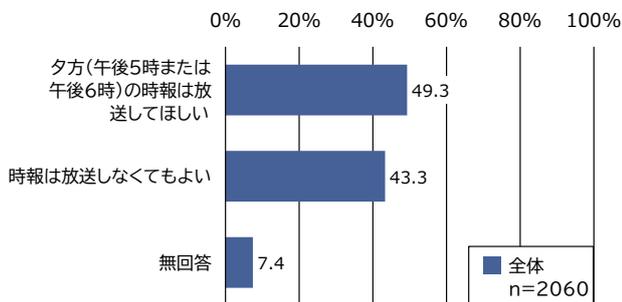
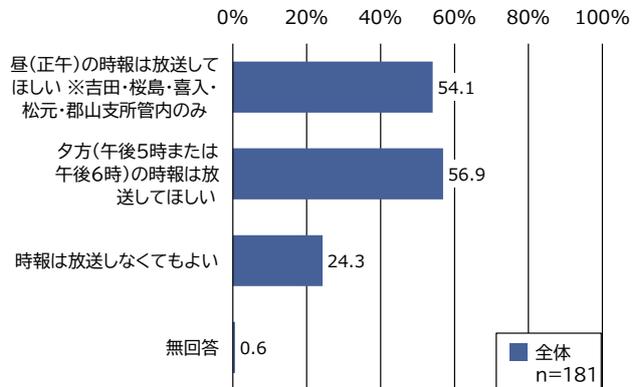


図7-2：時報放送の必要性  
(合併5町域等)



※問11は複数回答として集計

回答者数(旧鹿児島市)

全体	夕方(午後5時または午後6時)の時報は放送してほしい	時報は放送しなくてもよい	無回答
2060	1016	892	152
100.0	49.3	43.3	7.4

回答者数(合併5町域等)

全体	昼(正午)の時報は放送してほしい ※吉田・桜島・喜入・松元・郡山支所管内のみ	夕方(午後5時または午後6時)の時報は放送してほしい	時報は放送しなくてもよい	無回答
181	98	103	44	1
100.0	54.1	56.9	24.3	0.6

表7：時報放送の必要性（クロス集計）

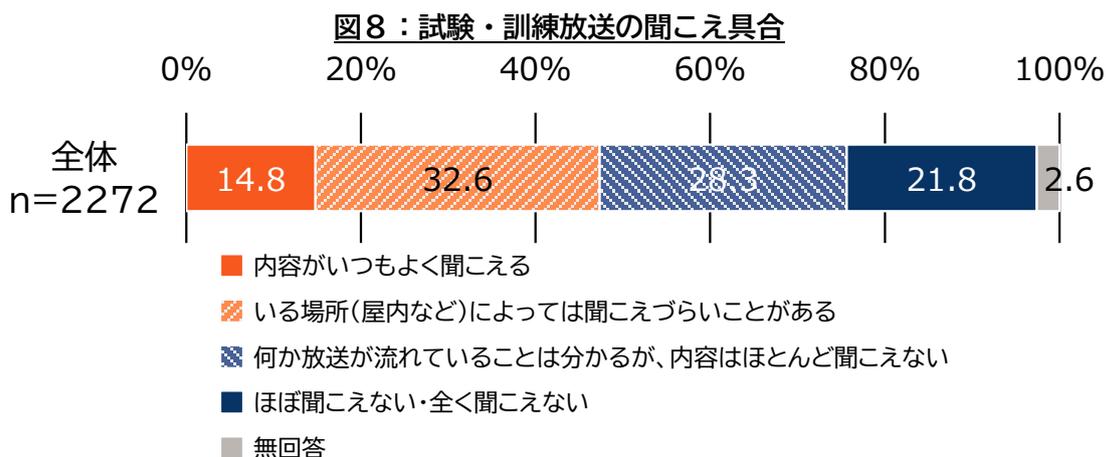
		全体	所管管内のみ	島（喜入・松元・郡山支）	昼（正午）の時報は放送してほしい	夕方（午後5時）の時報は放送してほしい	よ（午後5時）の時報は放送しなくてもよい	無回答
全体		2272	105	1136	944	157		
		100.0	4.6	50.0	41.5	6.9		
居住地①	中央地区	242	-	40.9	50.8	8.3		
	上町地区	128	-	43.8	45.3	10.9		
	磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松	2	-	50.0	50.0	-		
	鴨池地区	343	-	40.2	52.8	7.0		
	城西地区	153	-	35.3	55.6	9.2		
	武・田上地区	197	-	50.8	42.6	6.6		
	谷山北部地区	255	-	59.6	34.9	5.5		
	谷山地区	348	-	58.3	35.3	6.3		
	伊敷地域	189	-	52.9	37.6	9.5		
	吉野地域	203	-	55.7	37.9	6.4		
	桜島地域	15	80.0	66.7	13.3	-		
	吉田地域	32	37.5	50.0	34.4	3.1		
	喜入地域	44	63.6	59.1	18.2	-		
	松元地域	66	45.5	54.5	28.8	-		
	郡山地域	24	66.7	62.5	16.7	-		
無回答	31	22.6	54.8	25.8	12.9			
居住地②	旧鹿児島市	2060	-	49.3	43.3	7.4		
	合併5町域等	181	54.1	56.9	24.3	0.6		
	無回答	31	22.6	54.8	25.8	12.9		
居住地の災害リスク	土砂災害(特別)警戒区域	530	7.0	53.8	37.4	6.0		
	洪水浸水想定区域	547	2.4	47.3	45.5	5.7		
	津波浸水想定区域	210	5.7	48.1	46.7	4.8		
	原子力災害	9	77.8	66.7	11.1	-		
	火山災害(桜島島内)	15	80.0	66.7	13.3	-		
	いずれも該当しない	1140	3.6	49.6	42.0	7.5		
	無回答	57	1.8	49.1	35.1	14.0		
年齢	16～19歳	61	3.3	54.1	39.3	4.9		
	20～29歳	135	8.9	50.4	40.7	5.9		
	30～39歳	200	4.0	58.0	38.5	1.5		
	40～49歳	340	4.7	56.8	39.1	2.6		
	50～59歳	364	1.9	47.0	47.5	4.9		
	60～69歳	447	4.7	47.2	45.0	6.3		
	70～79歳	468	5.6	50.0	38.7	10.0		
	80～89歳	209	5.3	45.5	39.2	12.4		
	90歳以上	44	4.5	29.5	36.4	34.1		
	無回答	4	-	50.0	50.0	-		
世帯における自力避難困難者の有無	いる	432	3.9	57.2	35.2	6.3		
	いない	1831	4.8	48.3	43.1	7.0		
	無回答	9	-	55.6	22.2	22.2		

※問11は複数回答として集計

### (3) 試験・訓練放送の聞こえ具合

問12 日頃の防災行政無線の屋外スピーカーからの試験・訓練放送の音声について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(屋内の防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等からの放送の聞こえ具合は含みません。)

「いる場所(屋内など)によっては聞こえづらいことがある」が32.6%と最も割合が高く、次いで「何か放送が流れていることは分かるが、内容はほとんど聞こえない」が28.3%、「ほぼ聞こえない・全く聞こえない」が21.8%となっている。



**回答者数**

全体	内容がいつもよく聞こえる	いる場所(屋内など)によっては聞こえづらいことがある	何か放送が流れていることは分かるが、内容はほとんど聞こえない	ほぼ聞こえない・全く聞こえない	無回答
2272	336	740	643	495	58
100.0	14.8	32.6	28.3	21.8	2.6

【参考】防災行政無線の屋外スピーカーからの主な試験・訓練放送(令和5年度・下半期)

- R5.11.2 (木) 10:00～ 緊急地震速報訓練
- R5.11.11(土) AM 桜島火山爆発総合防災訓練に係る訓練放送 ※桜島地域のみ
- R5.11.15(水) 11:00～ Jアラート全国一斉情報伝達試験
- R6.2.9 (金) 11:00～ Jアラート全国一斉情報伝達試験
- R6.2.10 (土) AM 原子力防災訓練 ※郡山地域のみ

表8：試験・訓練放送の聞こえ具合（クロス集計）

		全体	内容がいつもよく聞こえる	聞こえる場所がある	ほとんどの場所（屋内など）で聞こえる	何か放送が流れている	聞こえない	無回答
全体		2272	336	740	643	495	58	
		100.0	14.8	32.6	28.3	21.8	2.6	
居住地①	中央地区	242	7.9	27.7	26.4	33.9	4.1	
	上町地区	128	14.8	32.0	29.7	20.3	3.1	
	磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松	2	-	-	100.0	-	-	
	鴨池地区	343	11.4	27.7	24.2	33.2	3.5	
	城西地区	153	10.5	23.5	30.7	32.0	3.3	
	武・田上地区	197	14.7	33.0	28.9	22.8	0.5	
	谷山北部地区	255	17.3	35.7	33.3	12.2	1.6	
	谷山地区	348	14.7	34.8	29.6	18.4	2.6	
	伊敷地域	189	12.7	39.7	28.6	15.3	3.7	
	吉野地域	203	14.3	31.5	35.0	18.2	1.0	
	桜島地域	15	26.7	60.0	13.3	-	-	
	吉田地域	32	34.4	28.1	18.8	18.8	-	
	喜入地域	44	45.5	45.5	4.5	4.5	-	
	松元地域	66	33.3	31.8	24.2	9.1	1.5	
	郡山地域	24	20.8	54.2	16.7	8.3	-	
無回答	31	12.9	41.9	29.0	6.5	9.7		
居住地②	旧鹿児島市	2060	13.1	31.8	29.3	23.2	2.6	
	合併5町域等	181	34.3	39.8	16.6	8.8	0.6	
	無回答	31	12.9	41.9	29.0	6.5	9.7	
居住地の災害リスク	土砂災害(特別)警戒区域	530	15.3	37.2	27.0	18.9	1.7	
	洪水浸水想定区域	547	11.2	32.2	28.2	25.6	2.9	
	津波浸水想定区域	210	12.4	34.8	22.4	27.6	2.9	
	原子力災害	9	33.3	55.6	11.1	-	-	
	火山災害(桜島島内)	15	26.7	60.0	13.3	-	-	
	いずれも該当しない	1140	16.9	29.7	30.2	21.0	2.2	
	無回答	57	15.8	29.8	17.5	24.6	12.3	
年齢	16～19歳	61	16.4	44.3	21.3	18.0	-	
	20～29歳	135	17.0	40.0	24.4	18.5	-	
	30～39歳	200	15.0	31.5	26.5	25.0	2.0	
	40～49歳	340	15.3	30.0	30.6	22.9	1.2	
	50～59歳	364	13.2	31.3	29.9	24.7	0.8	
	60～69歳	447	13.2	34.0	30.6	20.1	2.0	
	70～79歳	468	18.8	32.9	26.7	16.9	4.7	
	80～89歳	209	12.0	29.7	26.3	26.8	5.3	
	90歳以上	44	2.3	25.0	29.5	34.1	9.1	
	無回答	4	-	25.0	25.0	25.0	25.0	
世帯における自力避難困難者の有無	いる	432	14.8	30.8	30.3	22.2	1.9	
	いない	1831	14.9	33.0	27.8	21.7	2.6	
	無回答	9	-	22.2	33.3	11.1	33.3	

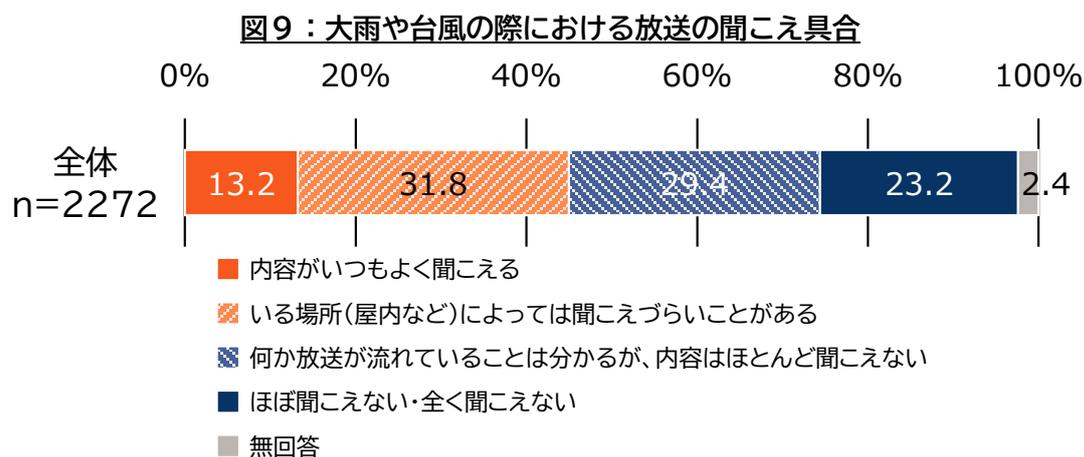
#### (4) 大雨や台風の際における放送の聞こえ具合

問13 大雨や台風の際、防災行政無線の屋外スピーカーからの避難指示等の音声放送の聞こえ具合について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(屋内の防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等からの放送の聞こえ具合は含みません。)

「いる場所(屋内など)によっては聞こえづらいことがある」が31.8%と最も割合が高く、次いで「何か放送が流れていることは分かるが、内容はほとんど聞こえない」が29.4%、「ほぼ聞こえない・全く聞こえない」が23.2%となっている。

居住地②別にみると、旧鹿児島市・合併5町域等の両地域とも「いる場所(屋内など)によっては聞こえづらいことがある」の割合が最も高くなっている。次いで、旧鹿児島市では「ほぼ聞こえない・全く聞こえない」の割合が30.4%、合併5町域等では「内容がいつもよく聞こえる」割合が28.2%と違いがみられる。

(3)試験・訓練放送の聞こえ具合と比較すると、「内容がいつもよく聞こえる」、「いる場所(屋内など)によっては聞こえづらいことがある」がそれぞれ1.6%・0.8%の減、「何か放送が流れていることは分かるが、内容はほとんど聞こえない」、「ほぼ聞こえない・全く聞こえない」がそれぞれ1.1%・1.4%の増となっている。



#### 回答者数

全体	内容がいつもよく聞こえる	いる場所(屋内など)によっては聞こえづらいことがある	何か放送が流れていることは分かるが、内容はほとんど聞こえない	ほぼ聞こえない・全く聞こえない	無回答
2272	299	723	668	527	55
100.0	13.2	31.8	29.4	23.2	2.4

【参考】防災行政無線の屋外スピーカーからの避難等に関する放送(令和5年度)

R5.7.3(月)大雨警報 14:35 避難指示(吉田・郡山地域のみ)  
 14:55 避難指示(中央・伊敷・吉野地域のみ)  
 15:05 高齢者等避難(桜島地域のみ)  
 17:20 避難指示(谷山・桜島・松元地域のみ)

R5.8.8(火)台風第6号 10:00 高齢者等避難(市内全域)  
 16:00 避難指示(市内全域)

表9：大雨や台風の際における放送の聞こえ具合（クロス集計）

		全体	内容がいつもよく聞こえる	いつもの場所（屋内など）がある	ほとんどの場合（屋内など）は放送が流れていない	何か放送が流れていない・全く聞こえない	無回答
全体		2272	299	723	668	527	55
		100.0	13.2	31.8	29.4	23.2	2.4
居住地①	中央地区	242	7.4	30.6	25.2	33.1	3.7
	上町地区	128	11.7	31.3	31.3	23.4	2.3
	磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松	2	-	50.0	-	50.0	-
	鴨池地区	343	11.7	27.1	22.2	35.3	3.8
	城西地区	153	8.5	25.5	31.4	30.7	3.9
	武・田上地区	197	13.2	29.9	29.9	26.4	0.5
	谷山北部地区	255	15.7	33.7	36.5	12.9	1.2
	谷山地区	348	13.2	31.9	33.9	18.4	2.6
	伊敷地域	189	12.2	36.0	32.8	15.9	3.2
	吉野地域	203	11.8	29.1	34.0	23.6	1.5
	桜島地域	15	20.0	66.7	13.3	-	-
	吉田地域	32	28.1	31.3	25.0	15.6	-
	喜入地域	44	31.8	52.3	9.1	4.5	2.3
	松元地域	66	28.8	36.4	24.2	10.6	-
	郡山地域	24	25.0	45.8	16.7	12.5	-
	無回答	31	9.7	48.4	25.8	12.9	3.2
居住地②	旧鹿児島市	2060	11.9	30.6	30.4	24.6	2.6
	合併5町域等	181	28.2	43.1	18.8	9.4	0.6
	無回答	31	9.7	48.4	25.8	12.9	3.2
居住地の災害リスク	土砂災害(特別)警戒区域	530	13.2	34.9	29.2	20.9	1.7
	洪水浸水想定区域	547	10.1	32.9	30.0	25.0	2.0
	津波浸水想定区域	210	12.9	30.5	25.7	28.6	2.4
	原子力災害	9	44.4	33.3	22.2	-	-
	火山災害(桜島島内)	15	20.0	66.7	13.3	-	-
	いずれも該当しない	1140	14.6	29.8	30.0	23.0	2.5
無回答	57	15.8	31.6	21.1	22.8	8.8	
年齢	16～19歳	61	13.1	39.3	31.1	16.4	-
	20～29歳	135	11.1	40.0	28.9	20.0	-
	30～39歳	200	11.0	30.5	33.5	24.5	0.5
	40～49歳	340	15.0	27.9	32.9	22.6	1.5
	50～59歳	364	12.4	29.4	29.1	28.3	0.8
	60～69歳	447	12.5	31.8	31.8	22.4	1.6
	70～79歳	468	16.7	35.3	24.8	18.2	5.1
	80～89歳	209	11.0	30.1	26.3	27.3	5.3
	90歳以上	44	2.3	27.3	22.7	38.6	9.1
	無回答	4	-	-	50.0	50.0	-
世帯における自力避難困難者の有無	いる	432	12.7	31.3	30.6	23.4	2.1
	いない	1831	13.3	32.0	29.1	23.2	2.4
	無回答	9	-	22.2	44.4	11.1	22.2

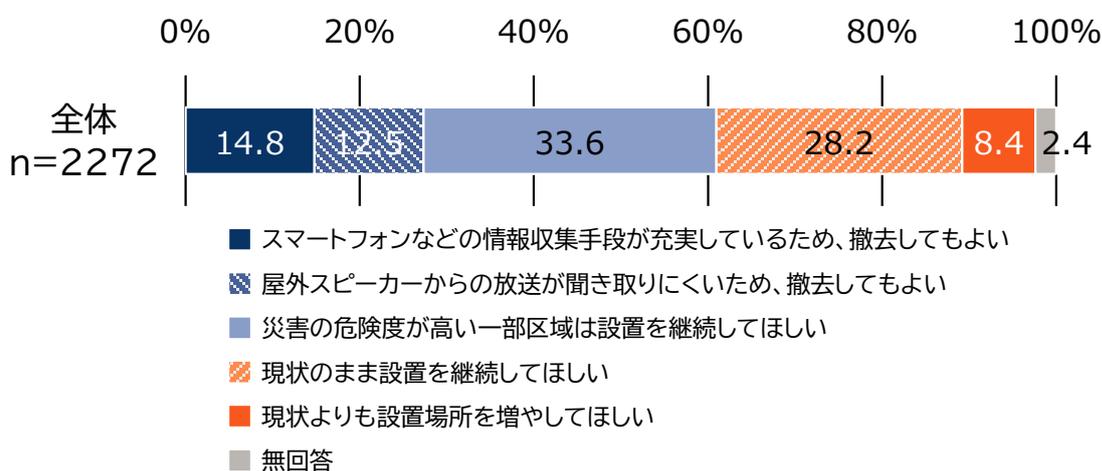
## (5) 防災行政無線の屋外スピーカー設置の必要性

問14 現在、スマートフォンなどの情報通信技術の進展等により防災情報の収集手段は充実してきています。あなたは防災行政無線の屋外スピーカーについて、今後も設置が必要であると考えますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(屋内の防災行政無線の戸別受信機や防災ラジオは含まず、あくまで屋外スピーカーについてのみお答えください。)

「スマートフォンなどの情報収集手段が充実しているため、撤去してもよい」と「屋外スピーカーからの放送が聞き取りにくいいため、撤去してもよい」を合わせた『撤去してもよい』が27.3%、「災害の危険度が高い一部区域は設置を継続してほしい」が33.6%、「現状のまま設置を継続してほしい」が28.2%、「現状よりも設置場所を増やしてほしい」が8.4%となっている。

『撤去してもよい』の割合をスマートフォン所有の有無別にみると、スマートフォンを持っている方は29.2%であるのに対し、スマートフォンを持っていない方は20.0%となっている。

図10：防災行政無線の屋外スピーカー設置の必要性



回答者数

回答者数	撤去してもよい (1)	撤去してもよい (2)	継続してほしい (3)	継続してほしい (4)	増やしてほしい (5)	無回答
全体	336	285	764	641	191	55
割合 (%)	14.8	12.5	33.6	28.2	8.4	2.4

表10：防災行政無線の屋外スピーカー設置の必要性（クロス集計）

		全体	スマートフォンなどの情報収集手段が充実しているため、撤去してもよい	聞き取りにくい、撤去してもよい	屋外スピーカーからの放送が聞取れないため、撤去し	災害の危険度が高い一部区域は設置を継続してほしい	現状のまま設置を継続してほしい	現状よりも設置場所を増やしてほしい	無回答
全体		2272	336	285	764	641	191	55	
		100.0	14.8	12.5	33.6	28.2	8.4	2.4	
居住地①	中央地区	242	17.8	13.2	32.6	26.9	7.0	2.5	
	上町地区	128	13.3	12.5	39.1	26.6	4.7	3.9	
	磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松	2	-	50.0	50.0	-	-	-	
	鳴池地区	343	18.1	9.9	37.0	23.6	8.7	2.6	
	城西地区	153	12.4	17.0	35.3	22.2	10.5	2.6	
	武・田上地区	197	14.7	10.2	40.1	26.9	7.1	1.0	
	谷山北部地区	255	11.8	16.5	32.2	29.0	9.8	0.8	
	谷山地区	348	13.5	12.6	30.5	31.0	8.3	4.0	
	伊敷地域	189	17.5	11.6	34.9	24.3	9.5	2.1	
	吉野地域	203	13.3	13.3	36.9	22.7	12.3	1.5	
	桜島地域	15	6.7	13.3	26.7	40.0	13.3	-	
	吉田地域	32	9.4	15.6	18.8	50.0	6.3	-	
	喜入地域	44	6.8	11.4	27.3	52.3	2.3	-	
	松元地域	66	16.7	7.6	24.2	48.5	3.0	-	
	郡山地域	24	33.3	4.2	16.7	33.3	8.3	4.2	
無回答	31	9.7	9.7	9.7	48.4	6.5	16.1		
居住地②	旧鹿児島市	2060	14.9	12.8	34.9	26.3	8.7	2.4	
	合併5町域等	181	14.4	9.9	23.2	47.0	5.0	0.6	
	無回答	31	9.7	9.7	9.7	48.4	6.5	16.1	
居住地の災害リスク	土砂災害(特別)警戒区域	530	13.0	11.3	36.8	27.4	10.0	1.5	
	洪水浸水想定区域	547	13.9	13.0	33.1	29.3	8.8	2.0	
	津波浸水想定区域	210	10.0	8.6	35.7	32.4	10.0	3.3	
	原子力災害	9	11.1	-	22.2	55.6	11.1	-	
	火山災害(桜島島内)	15	6.7	13.3	26.7	40.0	13.3	-	
	いずれも該当しない	1140	15.8	13.2	33.0	28.2	7.6	2.2	
	無回答	57	17.5	8.8	19.3	28.1	12.3	14.0	
年齢	16～19歳	61	14.8	-	42.6	37.7	4.9	-	
	20～29歳	135	17.8	11.1	31.9	32.6	6.7	-	
	30～39歳	200	17.0	14.5	33.0	28.5	7.0	-	
	40～49歳	340	14.4	11.5	36.2	28.5	8.2	1.2	
	50～59歳	364	11.5	16.5	36.8	26.6	7.4	1.1	
	60～69歳	447	17.4	11.9	39.4	22.6	7.2	1.6	
	70～79歳	468	15.0	12.4	28.2	31.2	8.8	4.5	
	80～89歳	209	12.4	12.9	23.9	32.1	12.9	5.7	
	90歳以上	44	9.1	6.8	31.8	15.9	20.5	15.9	
	無回答	4	-	25.0	-	50.0	25.0	-	
世帯における自力避難困難者の有無	いる	432	13.9	11.3	31.5	29.9	10.0	3.5	
	いない	1831	15.1	12.9	34.2	27.9	7.9	2.1	
	無回答	9	-	-	11.1	22.2	44.4	22.2	

表11：スマートフォンの有無（問5）

×  
防災行政無線の屋外スピーカー設置の必要性（問14）

	全体	め収集手段が充実にあつてもよい	スマートフォンが充実にあつてもよい						
		め収集手段が充実にあつてもよい	スマートフォンが充実にあつてもよい						
全体	2272	336	285	764	641	191	55		
	100.0	14.8	12.5	33.6	28.2	8.4	2.4		
スマートフォンを持っている	1807	16.0	13.2	35.5	26.5	7.2	1.5		
スマートフォンを持っていない	460	10.0	10.0	26.3	35.4	12.6	5.7		
無回答	5	-	20.0	20.0	-	40.0	20.0		

表12：「一斉架電システム」の有効性（問9）

×  
防災行政無線の屋外スピーカー設置の必要性（問14）

	全体	め収集手段が充実にあつてもよい	スマートフォンが充実にあつてもよい						
		め収集手段が充実にあつてもよい	スマートフォンが充実にあつてもよい						
全体	2272	336	285	764	641	191	55		
	100.0	14.8	12.5	33.6	28.2	8.4	2.4		
有効な情報伝達手段と思う	632	18.1	8.2	26.4	37.3	10.8	3.2		
どちらかといえば有効な情報伝達手段と思う	986	12.8	13.0	38.8	27.3	6.8	1.3		
どちらかといえば有効な情報伝達手段とは思わない	362	16.0	15.7	37.3	21.0	9.7	0.3		
有効な情報伝達手段とは思わない	228	25.0	18.4	30.3	18.9	6.1	1.3		
無回答	64	9.4	9.4	15.6	26.6	10.9	28.1		

表13：時報放送の必要性（問11）

×  
防災行政無線の屋外スピーカー設置の必要性（問14）

	全体	め収集手段が充実に スマートフォンなどの 情報	スマートフォンが よく聞こえるから の放送	屋外スピーカーが よく聞こえるから の放送	区域は危険度が高い 一部	災害の危険度が高い 一部	現状のまま設置を 継続し	現状よりも設置場 所を増	無回答
全体	2272	336	285	764	641	191	55		
	100.0	14.8	12.5	33.6	28.2	8.4	2.4		
昼(正午)の時報は放送してほしい ※吉田・桜島・喜入・松元・郡山支所管内のみ	105	18.1	5.7	19.0	59.0	5.7	1.9		
夕方(午後5時または午後6時)の時報は 放送してほしい	1136	8.3	8.8	33.1	37.9	10.6	1.4		
時報は放送しなくてもよい	944	23.0	18.2	35.7	16.3	5.6	1.2		
無回答	157	13.4	7.6	28.0	24.2	9.6	17.2		

表14：大雨や台風の際における放送の聞こえ具合（問13）

×  
防災行政無線の屋外スピーカー設置の必要性（問14）

	全体	め収集手段が充実に スマートフォンなどの 情報	スマートフォンが よく聞こえるから の放送	屋外スピーカーが よく聞こえるから の放送	区域は危険度が高い 一部	災害の危険度が高い 一部	現状のまま設置を 継続し	現状よりも設置場 所を増	無回答
全体	2272	336	285	764	641	191	55		
	100.0	14.8	12.5	33.6	28.2	8.4	2.4		
内容がいつもよく聞こえる	299	18.1	0.3	23.4	54.5	2.7	1.0		
いる場所(屋内など)によっては 聞こえづらいことがある	723	12.2	7.2	33.6	40.7	5.4	1.0		
何か放送が流れていることは分かるが、 内容はほとんど聞こえない	668	9.3	21.7	37.0	20.1	10.9	1.0		
ほぼ聞こえない・全く聞こえない	527	23.5	15.9	36.2	8.9	13.3	2.1		
無回答	55	14.5	5.5	23.6	5.5	1.8	49.1		

### 3. 戸別受信機について

※問15～17は、吉田地域、桜島地域、喜入地域、松元地域、郡山地域及び磯、花倉、三船、竜ヶ水、平松にお住まいの方が回答対象である。

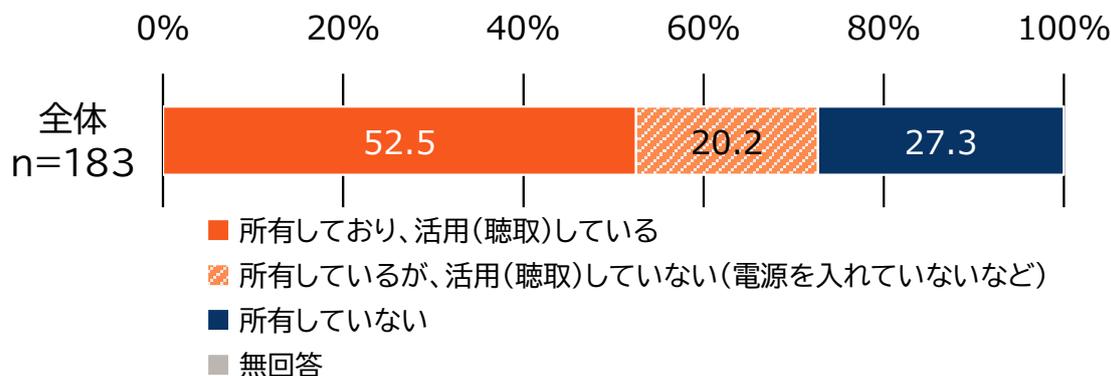
#### (1) 戸別受信機の活用(聴取)

問15\_あなたの世帯では戸別受信機を活用(聴取)していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「所有しており、活用(聴取)している」が52.5%と最も割合が高く、次いで「所有していない」が27.3%、「所有しているが、活用(聴取)していない(電源を入れていないなど)」が20.2%となっている。

年齢別にみると、20～39歳では「所有していない」割合が50%以上となっている。

図11：戸別受信機の活用(聴取)



回答者数

全体	所有しており、活用(聴取)している	所有しているが、活用(聴取)していない(電源を入れていないなど)	所有していない	無回答
183	96	37	50	-
100.0	52.5	20.2	27.3	-

表15：戸別受信機の活用（聴取）（クロス集計）

		全体	（聴取）して おり、活用 している	源（聴取）して いるが、活用 していない （電	所有して いない	無 回 答
全体		183	96	37	50	-
		100.0	52.5	20.2	27.3	-
居住地①	磯、花倉、三船、 竜ヶ水及び平松	2	-	50.0	50.0	-
	桜島地域	15	86.7	13.3	-	-
	吉田地域	32	53.1	6.3	40.6	-
	喜入地域	44	54.5	20.5	25.0	-
	松元地域	66	42.4	25.8	31.8	-
	郡山地域	24	58.3	25.0	16.7	-
	無回答	-	-	-	-	-
居住地②	旧鹿児島市	2	-	50.0	50.0	-
	合併5町域等	181	53.0	19.9	27.1	-
	無回答	-	-	-	-	-
居住地の 災害リス ク	土砂災害(特別)警戒区域	62	56.5	17.7	25.8	-
	洪水浸水想定区域	18	61.1	27.8	11.1	-
	津波浸水想定区域	17	76.5	11.8	11.8	-
	原子力災害	9	77.8	11.1	11.1	-
	火山災害(桜島島内)	15	86.7	13.3	-	-
	いずれも該当しない	87	44.8	21.8	33.3	-
	無回答	2	-	-	100.0	-
年齢	16～19歳	4	25.0	50.0	25.0	-
	20～29歳	16	31.3	18.8	50.0	-
	30～39歳	19	31.6	15.8	52.6	-
	40～49歳	26	46.2	34.6	19.2	-
	50～59歳	27	44.4	22.2	33.3	-
	60～69歳	34	61.8	8.8	29.4	-
	70～79歳	36	69.4	16.7	13.9	-
	80～89歳	17	70.6	29.4	-	-
	90歳以上	4	50.0	-	50.0	-
	無回答	-	-	-	-	-
世帯におけ る自力避難 困難者の 有無	いる	34	44.1	11.8	44.1	-
	いない	149	54.4	22.1	23.5	-
	無回答	-	-	-	-	-

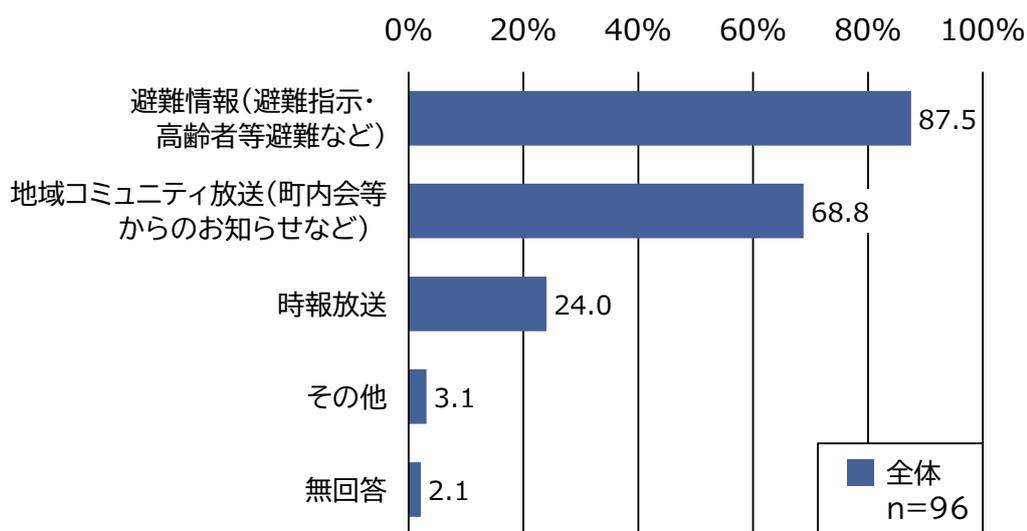
## (2) 戸別受信機で取得する情報の種類

【問15で1と回答された方のみ】

問16 戸別受信機でどのような情報を取得していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「避難情報(避難指示・高齢者等避難など)」が87.5%と最も割合が高く、次いで「地域コミュニティ放送(町内会等からのお知らせなど)」が68.8%、「時報放送」が24.0%となっている。

図12：戸別受信機でどのような情報を取得しているか【複数回答】



回答者数

全体	避難情報(避難指示・高齢者等避難など)	地域コミュニティ放送(町内会等からのお知らせなど)	時報放送	その他	無回答
96	84	66	23	3	2
100.0	87.5	68.8	24.0	3.1	2.1

〈「その他」のうち主なもの〉

・保健センターからの検診のお知らせ

表16：戸別受信機でどのような情報を取得しているか〔複数回答〕（クロス集計）

		全体	高齢者等 避難情報（避難 など）	（地域 町内会等 から）の お知らせ など	時 報 放 送	そ の 他	無 回 答
全体		96 100.0	84 87.5	66 68.8	23 24.0	3 3.1	2 2.1
居住地①	磯、花倉、三船、 竜ヶ水及び平松	-	-	-	-	-	-
	桜島地域	13	100.0	76.9	15.4	-	-
	吉田地域	17	100.0	70.6	-	5.9	-
	喜入地域	24	83.3	87.5	41.7	-	-
	松元地域	28	82.1	53.6	21.4	3.6	3.6
	郡山地域	14	78.6	57.1	35.7	7.1	7.1
	無回答	-	-	-	-	-	-
居住地②	旧鹿児島市	-	-	-	-	-	-
	合併5町域等	96	87.5	68.8	24.0	3.1	2.1
	無回答	-	-	-	-	-	-
居住地の 災害リス ク	土砂災害(特別)警戒区域	35	80.0	71.4	20.0	5.7	2.9
	洪水浸水想定区域	11	72.7	72.7	27.3	-	-
	津波浸水想定区域	13	84.6	92.3	7.7	-	-
	原子力災害	7	85.7	57.1	14.3	-	14.3
	火山災害(桜島島内)	13	100.0	76.9	15.4	-	-
	いずれも該当しない	39	89.7	59.0	33.3	2.6	2.6
	無回答	-	-	-	-	-	-
年齢	16～19歳	1	-	-	100.0	-	-
	20～29歳	5	60.0	60.0	-	-	20.0
	30～39歳	6	100.0	100.0	33.3	-	-
	40～49歳	12	83.3	58.3	25.0	-	-
	50～59歳	12	100.0	83.3	33.3	-	-
	60～69歳	21	100.0	71.4	28.6	4.8	-
	70～79歳	25	88.0	72.0	16.0	-	4.0
	80～89歳	12	83.3	50.0	8.3	16.7	-
	90歳以上	2	-	50.0	100.0	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-
世帯における 自力避難 困難者の 有無	いる	15	100.0	53.3	-	6.7	-
	いない	81	85.2	71.6	28.4	2.5	2.5
	無回答	-	-	-	-	-	-

### (3) 戸別受信機入れ替え時の受領希望

問17 現在使用している戸別受信機は生産停止予定であり、今後、戸別受信機を入れ替えることとなった場合に、受領を希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「希望する」が45.9%、「希望しない」が42.6%となっている。

居住地の災害リスク別にみると災害の恐れがある地域では、「希望する」割合が50%以上と最も高くなっている。一方で、いずれも該当しない地域では「希望しない」割合が50%以上と最も高くなっている。

希望する割合を年齢別にみると、20～69歳までは45%以下となっている。一方で、70～79歳では、58.3%と半数以上、80～89歳では、70.6%となっている。

戸別受信機の活用(聴取)別にみると、所有しており活用(聴取)している人は、入れ替え時の受領を「希望する」割合が最も高く、所有しているが活用(聴取)していない、所有していない人は「希望しない」割合が最も高くなっている。

図13：戸別受信機入れ替え時の受領希望

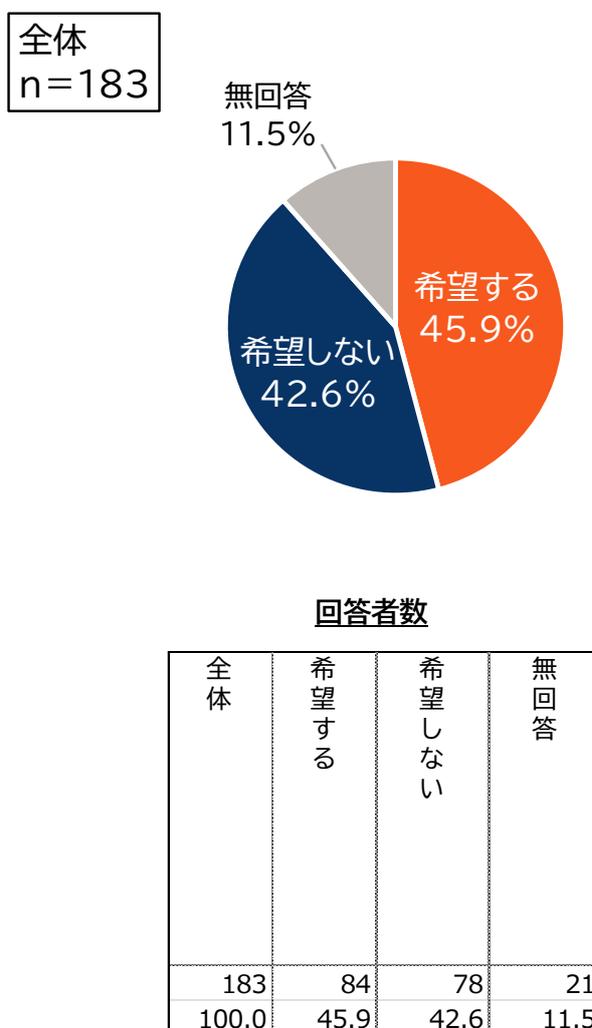


表17：戸別受信機入れ替え時の受領希望（クロス集計）

		全体	希望する	希望しない	無回答
全体		183	84	78	21
		100.0	45.9	42.6	11.5
居住地①	磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松	2	50.0	50.0	-
	桜島地域	15	66.7	33.3	-
	吉田地域	32	46.9	40.6	12.5
	喜入地域	44	52.3	40.9	6.8
	松元地域	66	37.9	45.5	16.7
	郡山地域	24	41.7	45.8	12.5
	無回答	-	-	-	-
居住地②	旧鹿児島市	2	50.0	50.0	-
	合併5町域等	181	45.9	42.5	11.6
	無回答	-	-	-	-
居住地の災害リスク	土砂災害(特別)警戒区域	62	51.6	37.1	11.3
	洪水浸水想定区域	18	61.1	38.9	-
	津波浸水想定区域	17	58.8	35.3	5.9
	原子力災害	9	66.7	33.3	-
	火山災害(桜島島内)	15	66.7	33.3	-
	いずれも該当しない	87	34.5	50.6	14.9
	無回答	2	50.0	50.0	-
年齢	16～19歳	4	50.0	50.0	-
	20～29歳	16	43.8	50.0	6.3
	30～39歳	19	31.6	47.4	21.1
	40～49歳	26	42.3	50.0	7.7
	50～59歳	27	40.7	48.1	11.1
	60～69歳	34	35.3	44.1	20.6
	70～79歳	36	58.3	33.3	8.3
	80～89歳	17	70.6	29.4	-
	90歳以上	4	50.0	25.0	25.0
	無回答	-	-	-	-
世帯における自力避難困難者の有無	いる	34	44.1	44.1	11.8
	いない	149	46.3	42.3	11.4
	無回答	-	-	-	-

表18：戸別受信機の活用（聴取）（問15）×戸別受信機入れ替え時の受領希望（問17）

	全体	希望する	希望しない	無回答
全体	183	84	78	21
	100.0	45.9	42.6	11.5
所有しており、活用（聴取）している	96	71.9	26.0	2.1
所有しているが、活用（聴取）していない （電源を入れていないなど）	37	16.2	78.4	5.4
所有していない	50	18.0	48.0	34.0
無回答	-	-	-	-

## 4. 備蓄・非常持出品について

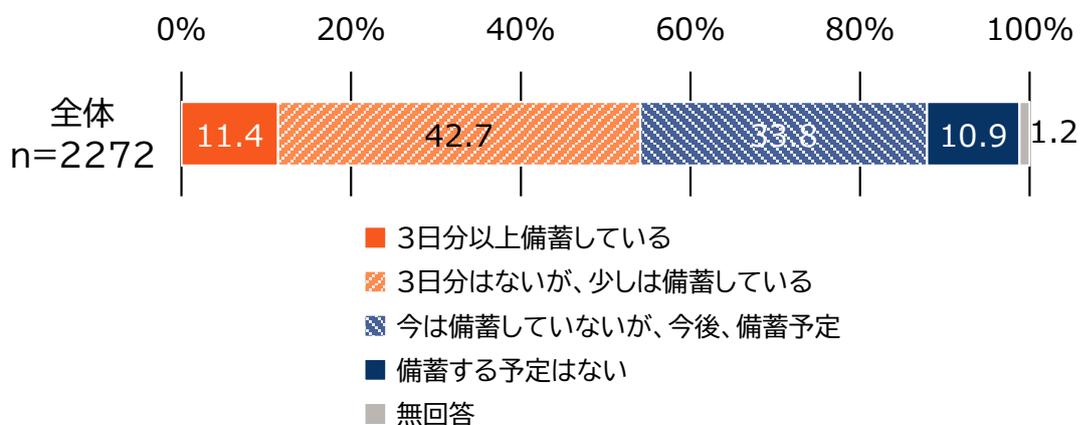
### (1) 備蓄状況

問18 災害に備えた備蓄をしていますか？ あてはまる番号1つに○をつけてください。

「3日分はないが、少しは備蓄している」が42.7%と最も割合が高く、次いで「今は備蓄していないが、今後、備蓄予定」が33.8%、「3日以上備蓄している」が11.4%となっている。

居住地①別で見ると、郡山地域、吉田地域では他地域と比較し、「3日以上備蓄している」割合が相対的に高くなっている。

図14：備蓄状況



回答者数

全体	3日以上備蓄している	3日分はないが、少しは備蓄している	今は備蓄していないが、今後、備蓄予定	備蓄する予定はない	無回答
2272	260	970	768	247	27
100.0	11.4	42.7	33.8	10.9	1.2

表19：備蓄状況（クロス集計）

		全体	る3日分以上備蓄している	は3日分は備蓄していないが、少し	が、今後は備蓄して、備蓄予定ない	備蓄する予定はない	無回答	『備蓄している』計	『備蓄していない』計
全体		2272	260	970	768	247	27	1230	1015
		100.0	11.4	42.7	33.8	10.9	1.2	54.1	44.7
居住地①	中央地区	242	12.4	36.4	35.5	14.9	0.8	48.8	50.4
	上町地区	128	11.7	46.1	32.0	7.0	3.1	57.8	39.0
	磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松	2	-	100.0	-	-	-	100.0	0.0
	鴨池地区	343	12.0	42.6	34.4	10.2	0.9	54.6	44.6
	城西地区	153	12.4	43.1	34.0	9.8	0.7	55.5	43.8
	武・田上地区	197	11.2	45.2	31.0	12.2	0.5	56.4	43.2
	谷山北部地区	255	16.1	40.4	32.9	10.2	0.4	56.5	43.1
	谷山地区	348	6.6	45.7	33.0	12.9	1.7	52.3	45.9
	伊敷地域	189	11.1	44.4	34.4	9.5	0.5	55.5	43.9
	吉野地域	203	10.8	41.9	34.0	11.8	1.5	52.7	45.8
	桜島地域	15	-	40.0	46.7	13.3	-	40.0	60.0
	吉田地域	32	18.8	40.6	31.3	6.3	3.1	59.4	37.6
	喜入地域	44	11.4	36.4	47.7	4.5	-	47.8	52.2
	松元地域	66	7.6	54.5	33.3	4.5	-	62.1	37.8
	郡山地域	24	29.2	33.3	29.2	4.2	4.2	62.5	33.4
	無回答	31	9.7	32.3	32.3	16.1	9.7	42.0	48.4
居住地②	旧鹿兒島市	2060	11.4	42.8	33.5	11.3	1.1	54.2	44.8
	合併5町域等	181	12.7	43.6	37.0	5.5	1.1	56.3	42.5
	無回答	31	9.7	32.3	32.3	16.1	9.7	42.0	48.4
居住地の災害リスク	土砂災害(特別)警戒区域	530	11.7	44.7	33.8	9.2	0.6	56.4	43.0
	洪水浸水想定区域	547	10.1	43.3	34.7	11.3	0.5	53.4	46.0
	津波浸水想定区域	210	8.1	45.2	33.3	12.9	0.5	53.3	46.2
	原子力災害	9	22.2	33.3	33.3	-	11.1	55.5	33.3
	火山災害(桜島島内)	15	-	40.0	46.7	13.3	-	40.0	60.0
	いずれも該当しない	1140	12.2	41.8	33.2	11.5	1.3	54.0	44.7
	無回答	57	10.5	33.3	35.1	14.0	7.0	43.8	49.1
年齢	16～19歳	61	13.1	41.0	31.1	14.8	-	54.1	45.9
	20～29歳	135	6.7	35.6	45.2	12.6	-	42.3	57.8
	30～39歳	200	10.5	42.0	34.5	12.0	1.0	52.5	46.5
	40～49歳	340	9.1	48.2	32.4	10.0	0.3	57.3	42.4
	50～59歳	364	9.3	44.2	37.9	8.2	0.3	53.5	46.1
	60～69歳	447	11.9	41.6	34.2	11.6	0.7	53.5	45.8
	70～79歳	468	15.8	43.8	29.5	9.6	1.3	59.6	39.1
	80～89歳	209	10.5	40.7	27.8	15.3	5.7	51.2	43.1
	90歳以上	44	15.9	22.7	47.7	9.1	4.5	38.6	56.8
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0
世帯における自力避難困難者の有無	いる	432	12.0	42.6	33.8	10.2	1.4	54.6	44.0
	いない	1831	11.4	42.7	33.9	11.1	1.0	54.1	45.0
	無回答	9	-	55.6	22.2	-	22.2	55.6	22.2

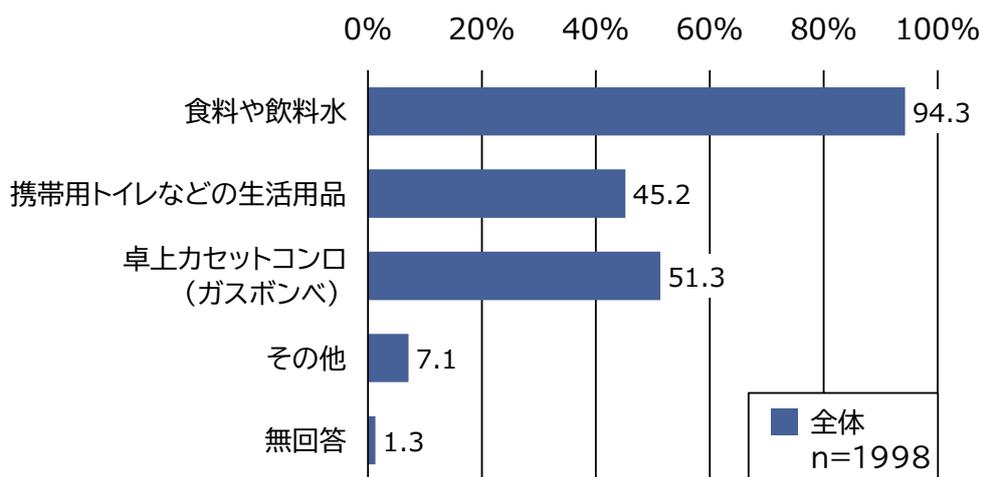
## (2) 備蓄品目(予定含む)

【問18で1～3と回答された方のみ】

問19 備蓄している(備蓄する予定)ものについてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「食料や飲料水」が94.3%と最も割合が高く、次いで「卓上カセットコンロ(ガスボンベ)」が51.3%、「携帯用トイレなどの生活用品」が45.2%となっている。

図15：備蓄品目(予定含む) [複数回答]



回答者数

全体	食料や飲料水	携帯用トイレなどの生活用品	卓上カセットコンロ(ガスボンベ)	その他	無回答
1998	1884	903	1024	142	26
100.0	94.3	45.2	51.3	7.1	1.3

〈「その他」のうち主なもの〉

- ・充電器
- ・ランタン
- ・ごみ袋
- ・犬のエサ、オムツシート
- ・井戸ポンプ
- ・サランラップ
- ・灯油ストーブ
- ・寝袋
- ・発電できる車両
- ・薬
- ・カメラ(記録用)
- ・殺虫剤
- ・現金
- ・水タンク
- ・コンタクトレンズ
- ・ベビー液体ミルク、紙オムツ
- ・ホイッスル

表20：備蓄品目（予定含む）〔複数回答〕（クロス集計）

		全体	食料 や飲料 水	携 帯 用 ト イ レ な ど の 生 活 用 品	卓 上 ガ ス ボ ン セ ッ ト コ ン ロ （ ガ ス ボ ン ベ ）	そ の 他	無 回 答
全体		1998	1884	903	1024	142	26
		100.0	94.3	45.2	51.3	7.1	1.3
居住地①	中央地区	204	93.6	48.0	42.6	5.4	2.5
	上町地区	115	94.8	44.3	50.4	11.3	0.9
	磯、花倉、三船、 竜ヶ水及び平松	2	100.0	-	-	-	-
	鴨池地区	305	94.4	45.9	50.8	5.6	1.6
	城西地区	137	94.9	48.2	44.5	6.6	-
	武・田上地区	172	95.3	46.5	47.1	4.7	1.2
	谷山北部地区	228	94.3	45.2	54.4	7.9	0.9
	谷山地区	297	93.9	47.1	49.2	6.1	1.7
	伊敷地域	170	94.1	37.6	53.5	11.8	1.2
	吉野地域	176	96.0	42.0	65.3	9.1	0.6
	桜島地域	13	100.0	46.2	69.2	-	-
	吉田地域	29	82.8	41.4	65.5	-	3.4
	喜入地域	42	100.0	40.5	47.6	4.8	-
	松元地域	63	93.7	42.9	58.7	3.2	-
	郡山地域	22	86.4	45.5	40.9	13.6	9.1
	無回答	23	87.0	65.2	52.2	21.7	-
居住地②	旧鹿児島市	1806	94.5	45.2	50.8	7.2	1.3
	合併5町域等	169	92.9	42.6	55.6	4.1	1.8
	無回答	23	87.0	65.2	52.2	21.7	-
居住地の 災害リス ク	土砂災害(特別)警戒区域	478	92.7	46.9	54.6	8.6	1.7
	洪水浸水想定区域	482	94.2	49.0	47.9	6.6	1.2
	津波浸水想定区域	182	92.9	46.7	50.5	5.5	1.1
	原子力災害	8	87.5	50.0	25.0	12.5	12.5
	火山災害(桜島島内)	13	100.0	46.2	69.2	-	-
	いずれも該当しない	994	95.5	43.8	51.1	7.3	0.9
	無回答	45	86.7	26.7	46.7	4.4	4.4
年齢	16～19歳	52	94.2	40.4	46.2	7.7	1.9
	20～29歳	118	93.2	49.2	36.4	6.8	-
	30～39歳	174	93.7	52.3	48.9	8.6	0.6
	40～49歳	305	93.4	44.9	56.1	6.6	2.0
	50～59歳	333	94.9	50.2	51.1	9.3	0.9
	60～69歳	392	94.9	47.2	60.2	5.9	0.5
	70～79歳	417	95.9	38.4	53.7	6.2	1.0
	80～89歳	165	93.3	38.8	37.6	7.9	3.0
	90歳以上	38	84.2	50.0	23.7	5.3	7.9
		無回答	4	75.0	25.0	-	-
世帯におけ る自力避難 困難者の 有無	いる	382	93.7	51.0	50.5	8.9	1.3
	いない	1609	94.4	43.8	51.5	6.7	1.3
	無回答	7	100.0	57.1	28.6	-	-

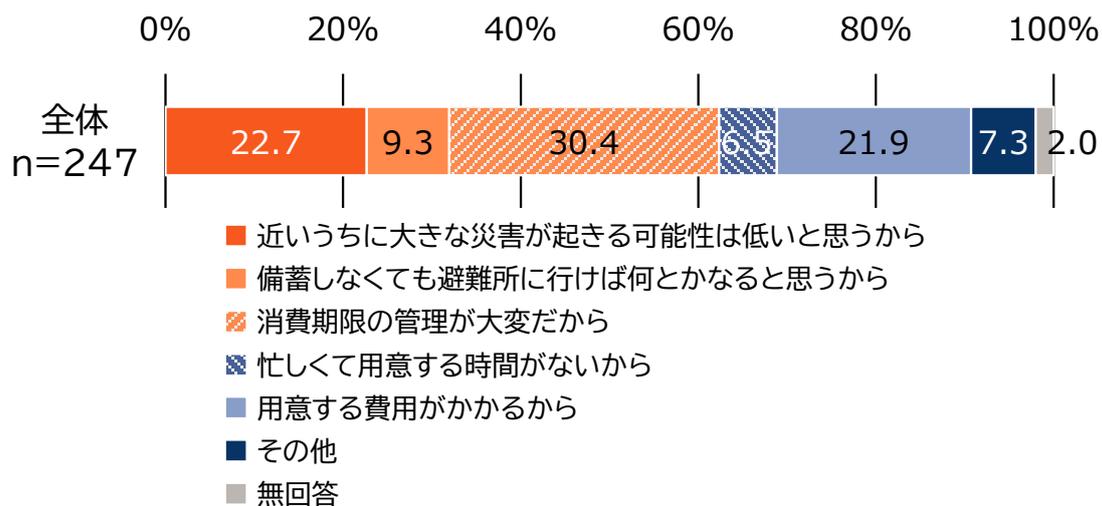
### (3) 備蓄しない理由

【問18で「4 備蓄する予定はない」と回答された方のみ】

問20\_あなたが備蓄しない理由として一番あてはまる番号1つに○をつけてください。

「消費期限の管理が大変だから」が30.4%と最も割合が高く、次いで「近いうちに大きな災害が起きる可能性は低いと思うから」が22.7%、「用意する費用がかかるから」が21.9%となっている。

図16：備蓄しない理由



回答者数

全体	とが近 思に備 う行蓄 きうか かかけ るうち から可 に能大 性き はな 低災 い害	思に備 う行蓄 かかけ らばな から何 とて かも な避 る難 と所	だ消 か費 か期 ら限 の 管 理 が 大 変	が忙 なし く く て 用 意 す る 時 間	か用 ら意 す る 費 用 が か か る	そ の 他	無 回 答
247	56	23	75	16	54	18	5
100.0	22.7	9.3	30.4	6.5	21.9	7.3	2.0

〈「その他」のうち主なもの〉

- ・面倒くさい
- ・備蓄している所で災害にあうとは限らないから
- ・身体が不自由のため
- ・防災意識が低いから
- ・置く場所がないから
- ・現在の住まいで必要性を感じない

表21：備蓄しない理由（クロス集計）

		全体	とが近 思起 うき うから うから うから	に 行 け ば 何 と か な る と	備 蓄 し な く て も 避 難 所	だ 消 費 期 限 の 管 理 が 大 変	が 忙 し く て 用 意 す る 時 間	か ら 用 意 す る 費 用 が か か る	そ の 他	無 回 答
全体		247	56	23	75	16	54	18	5	
		100.0	22.7	9.3	30.4	6.5	21.9	7.3	2.0	
居住地①	中央地区	36	11.1	11.1	27.8	8.3	33.3	8.3	-	
	上町地区	9	11.1	11.1	33.3	-	44.4	-	-	
	磯、花倉、三船、 竜ヶ水及び平松	-	-	-	-	-	-	-	-	
	鴨池地区	35	22.9	8.6	40.0	2.9	11.4	11.4	2.9	
	城西地区	15	20.0	-	53.3	-	13.3	13.3	-	
	武・田上地区	24	37.5	12.5	12.5	8.3	25.0	-	4.2	
	谷山北部地区	26	23.1	11.5	26.9	7.7	19.2	7.7	3.8	
	谷山地区	45	24.4	11.1	26.7	11.1	15.6	6.7	4.4	
	伊敷地域	18	16.7	5.6	38.9	11.1	16.7	11.1	-	
	吉野地域	24	25.0	-	37.5	4.2	25.0	8.3	-	
	桜島地域	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	
	吉田地域	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	
	喜入地域	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	
	松元地域	3	33.3	-	-	-	66.7	-	-	
	郡山地域	1	-	-	-	-	100.0	-	-	
無回答	5	20.0	20.0	20.0	-	40.0	-	-		
居住地②	旧鹿児島市	232	22.0	8.6	31.5	6.9	21.1	7.8	2.2	
	合併5町域等	10	40.0	20.0	10.0	-	30.0	-	-	
	無回答	5	20.0	20.0	20.0	-	40.0	-	-	
居住地の 災害リス ク	土砂災害(特別)警戒区域	49	14.3	2.0	32.7	8.2	32.7	8.2	2.0	
	洪水浸水想定区域	62	12.9	8.1	33.9	12.9	19.4	11.3	1.6	
	津波浸水想定区域	27	22.2	-	18.5	11.1	33.3	11.1	3.7	
	原子力災害	-	-	-	-	-	-	-	-	
	火山災害(桜島島内)	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	
	いずれも該当しない	131	29.0	10.7	29.8	3.1	19.1	6.1	2.3	
	無回答	8	25.0	37.5	12.5	12.5	-	12.5	-	
年齢	16～19歳	9	11.1	-	33.3	11.1	33.3	-	11.1	
	20～29歳	17	23.5	-	23.5	17.6	29.4	5.9	-	
	30～39歳	24	20.8	-	41.7	8.3	29.2	-	-	
	40～49歳	34	5.9	11.8	35.3	17.6	23.5	5.9	-	
	50～59歳	30	26.7	10.0	23.3	3.3	30.0	6.7	-	
	60～69歳	52	21.2	13.5	28.8	3.8	21.2	9.6	1.9	
	70～79歳	45	31.1	13.3	26.7	-	17.8	6.7	4.4	
	80～89歳	32	31.3	6.3	34.4	3.1	9.4	12.5	3.1	
	90歳以上	4	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	
世帯におけ る自力避難 困難者の 有無	いる	44	13.6	4.5	36.4	11.4	20.5	13.6	-	
	いない	203	24.6	10.3	29.1	5.4	22.2	5.9	2.5	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	

## 5. 災害時の避難について

### (1) ハザードマップの確認

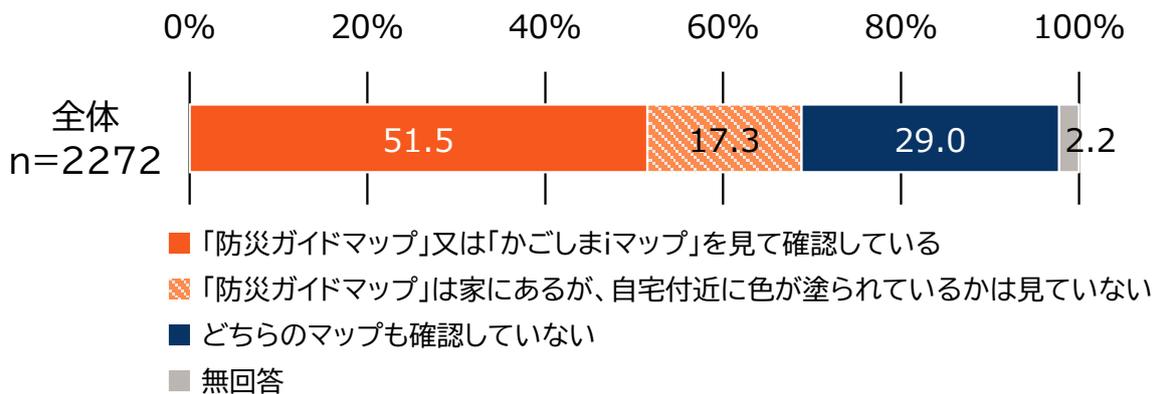
問21\_ 自宅のある場所が、災害の危険があるか(色が塗られているか)確認していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「防災ガイドマップ」又は「かごしまiマップ」を見て確認している」が51.5%と最も割合が高く、次いで「どちらのマップも確認していない」が29.0%、「防災ガイドマップ」は家にあるが、自宅付近に色が塗られているかは見えていない」が17.3%となっている。

年齢別にみると、16～29歳は「どちらのマップも確認していない」割合が最も高くなっており、30歳以上は「防災ガイドマップ」又は「かごしまiマップ」を見て確認している」割合が最も高くなっている。

災害に備えた備蓄量別にみると、備蓄している、今後備蓄予定の人は「防災ガイドマップ」又は「かごしまiマップ」を見て確認している」割合が最も高くなっている。一方で、備蓄する予定がない人は「どちらのマップも確認していない」割合が最も高くなっており、災害に備えた備蓄が不十分になるにつれハザードマップを確認している割合も低くなっている。

図17：ハザードマップの確認



回答者数

全体	「防災ガイドマップ」又は「かごしまiマップ」を見て確認している	「防災ガイドマップ」は家にあるが、自宅付近に色が塗られているかは見えていない	どちらのマップも確認していない	無回答
2272	1171	394	658	49
100.0	51.5	17.3	29.0	2.2

表22：ハザードマップの確認（クロス集計）

		全体	は「 見て 確認 して いる	「防 災 ガ イ ド マ ッ プ 」 又 は 「 防 災 マ ッ プ 」 を 見 て 確 認 し て い る	「家 に あ る が 、 自 宅 に 近 く 見 て い る	「防 災 ガ イ ド マ ッ プ 」 も 確 認 し て い る	し ど ち ら の マ ッ プ も 確 認 し て い ない	無 回 答
全体		2272	1171	394	658	49		
		100.0	51.5	17.3	29.0	2.2		
居住地①	中央地区	242	49.2	17.4	32.6	0.8		
	上町地区	128	52.3	9.4	32.0	6.3		
	磯、花倉、三船、 竜ヶ水及び平松	2	50.0	-	50.0	-		
	鴨池地区	343	46.1	18.1	33.2	2.6		
	城西地区	153	66.0	13.7	20.3	-		
	武・田上地区	197	53.3	17.8	26.9	2.0		
	谷山北部地区	255	60.0	14.1	24.3	1.6		
	谷山地区	348	52.0	20.1	25.6	2.3		
	伊敷地域	189	50.8	19.6	28.0	1.6		
	吉野地域	203	44.3	16.3	37.9	1.5		
	桜島地域	15	66.7	-	20.0	13.3		
	吉田地域	32	59.4	18.8	18.8	3.1		
	喜入地域	44	43.2	22.7	34.1	-		
	松元地域	66	50.0	21.2	28.8	-		
	郡山地域	24	45.8	29.2	25.0	-		
	無回答	31	25.8	29.0	29.0	16.1		
居住地②	旧鹿児島市	2060	52.0	16.9	29.1	2.0		
	合併5町域等	181	50.8	20.4	27.1	1.7		
	無回答	31	25.8	29.0	29.0	16.1		
居住地の 災害リス ク	土砂災害(特別)警戒区域	530	56.6	14.7	27.5	1.1		
	洪水浸水想定区域	547	55.8	16.1	27.2	0.9		
	津波浸水想定区域	210	47.1	17.6	32.4	2.9		
	原子力災害	9	33.3	33.3	33.3	-		
	火山災害(桜島島内)	15	66.7	-	20.0	13.3		
	いずれも該当しない	1140	49.4	18.6	29.6	2.4		
	無回答	57	29.8	14.0	42.1	14.0		
年齢	16～19歳	61	26.2	16.4	55.7	1.6		
	20～29歳	135	28.9	11.9	59.3	-		
	30～39歳	200	46.5	14.0	39.5	-		
	40～49歳	340	54.7	14.4	30.0	0.9		
	50～59歳	364	49.7	19.2	30.2	0.8		
	60～69歳	447	59.7	19.0	20.8	0.4		
	70～79歳	468	58.5	18.4	19.0	4.1		
	80～89歳	209	46.4	17.7	26.8	9.1		
	90歳以上	44	38.6	27.3	29.5	4.5		
	無回答	4	25.0	25.0	50.0	-		
世帯におけ る自力避難 困難者の 有無	いる	432	52.8	15.5	30.1	1.6		
	いない	1831	51.2	17.8	28.8	2.2		
	無回答	9	55.6	11.1	11.1	22.2		

表23：備蓄状況（問18）×ハザードマップの確認（問21）

	全体	は「防災ガイドマップ」を確認している	「防災ガイドマップ」があるが、自宅付近には塗られていない	「防災ガイドマップ」を確認していない	無回答
全体	2272	1171	394	658	49
	100.0	51.5	17.3	29.0	2.2
3日以上備蓄している	260	68.1	13.5	16.5	1.9
3日分はないが、少しは備蓄している	970	59.6	16.0	22.8	1.6
今は備蓄していないが、今後、備蓄予定	768	41.8	22.1	35.0	1.0
備蓄する予定はない	247	36.4	12.1	49.4	2.0
無回答	27	18.5	14.8	11.1	55.6

## (2) 災害時の避難場所

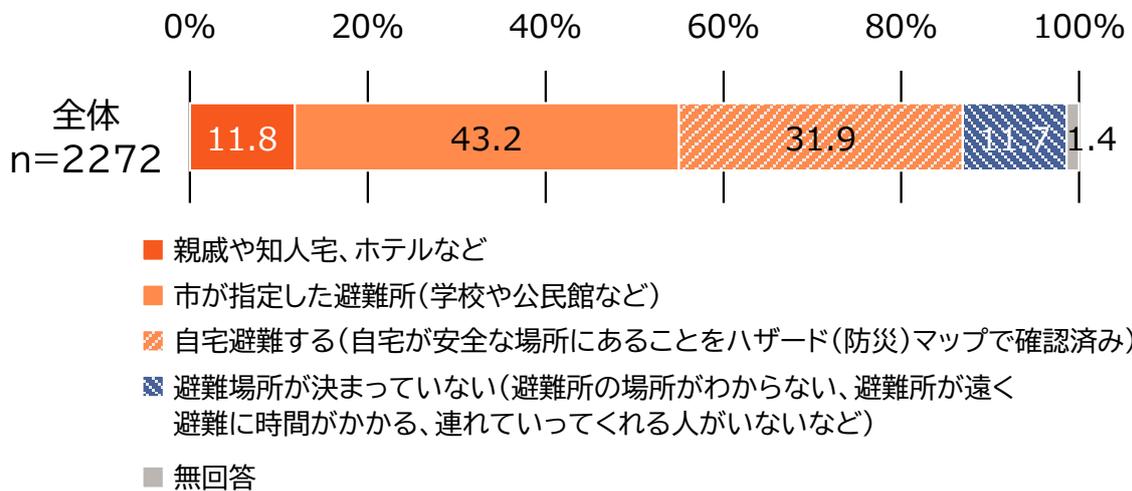
問22 災害時にあなたや家族が避難する場所はどこですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「市が指定した避難所(学校や公民館など)」が43.2%と最も割合が高く、次いで「自宅避難する(自宅が安全な場所にあることをハザード(防災)マップで確認済み)」が31.9%、「親戚や知人宅、ホテルなど」が11.8%となっている。

居住地①別にみると、桜島地域では他地域と比較し、「自宅避難する(自宅が安全な場所にあることをハザード(防災)マップで確認済み)」の割合が低くなっている。

また、自力避難困難者がいる世帯では、「市が指定した避難所(学校や公民館など)」と選択した割合が平均より低く、「親戚や知人宅、ホテルなど」、「避難場所が決まっていない(避難所の場所がわからない、避難所が遠く避難に時間がかかる、連れていってくれる人がいないなど)」の割合が相対的に高くなっている。

図18：災害時の避難場所



回答者数

全体	親戚や知人宅、ホテルなど	(市が指定した避難所)	自宅避難する(自宅が安全な場所にあることをハザード(防災)マップで確認済み)	自宅避難する(自宅が安全な場所にあることをハザード(防災)マップで確認済み)	自宅避難する(自宅が安全な場所にあることをハザード(防災)マップで確認済み)	自宅避難する(自宅が安全な場所にあることをハザード(防災)マップで確認済み)	無回答
2272	269	981	724	266	32		
100.0	11.8	43.2	31.9	11.7	1.4		

表24：災害時の避難場所（クロス集計）

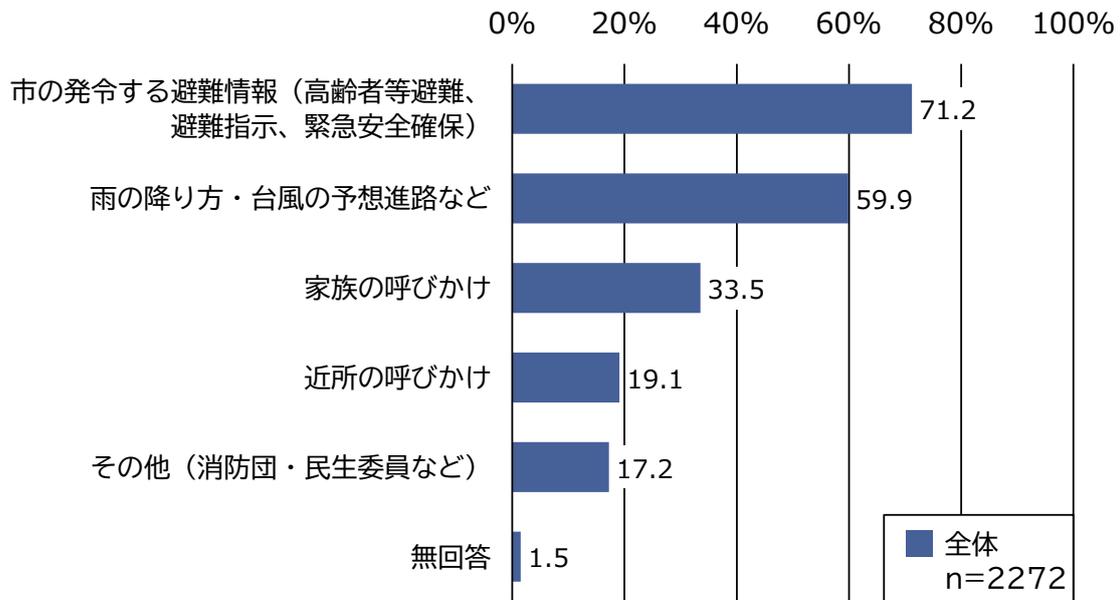
		全体	な 親 戚 や 知 人 宅 、 ホ テ ル	（ 市 が 指 定 し た 公 民 館 な ど ）	認 ド 自 宅 （ 防 災 ） マ ッ プ で 確 認 す る （ ハ ザ ー ド ）	な い 避 難 場 所 が 決 ま っ て い ない	無 回 答
全体		2272	269	981	724	266	32
		100.0	11.8	43.2	31.9	11.7	1.4
居住地①	中央地区	242	11.2	40.9	33.9	12.8	1.2
	上町地区	128	14.1	41.4	29.7	12.5	2.3
	磯、花倉、三船、 竜ヶ水及び平松	2	-	-	100.0	-	-
	鴨池地区	343	11.4	40.5	35.3	12.0	0.9
	城西地区	153	19.0	37.9	34.6	7.8	0.7
	武・田上地区	197	10.7	46.2	32.0	10.2	1.0
	谷山北部地区	255	10.6	49.0	29.4	9.8	1.2
	谷山地区	348	14.1	44.3	27.0	12.6	2.0
	伊敷地域	189	13.8	43.9	27.0	14.3	1.1
	吉野地域	203	7.4	38.9	36.5	16.3	1.0
	桜島地域	15	20.0	60.0	6.7	6.7	6.7
	吉田地域	32	3.1	50.0	40.6	3.1	3.1
	喜入地域	44	6.8	52.3	27.3	11.4	2.3
	松元地域	66	9.1	43.9	40.9	6.1	-
	郡山地域	24	12.5	37.5	33.3	12.5	4.2
	無回答	31	6.5	45.2	32.3	9.7	6.5
居住地②	旧鹿児島市	2060	12.2	42.8	31.7	12.1	1.3
	合併5町域等	181	8.8	47.5	33.7	7.7	2.2
	無回答	31	6.5	45.2	32.3	9.7	6.5
居住地の 災害リス ク	土砂災害(特別)警戒区域	530	15.3	49.8	20.9	13.2	0.8
	洪水浸水想定区域	547	16.8	41.9	24.9	14.8	1.6
	津波浸水想定区域	210	11.0	40.5	26.7	20.5	1.4
	原子力災害	9	22.2	22.2	44.4	11.1	-
	火山災害(桜島島内)	15	20.0	60.0	6.7	6.7	6.7
	いずれも該当しない	1140	8.0	41.0	40.4	9.6	1.1
	無回答	57	15.8	49.1	21.1	8.8	5.3
年齢	16～19歳	61	3.3	49.2	29.5	18.0	-
	20～29歳	135	11.1	51.1	18.5	19.3	-
	30～39歳	200	18.5	41.5	25.0	15.0	-
	40～49歳	340	13.5	38.8	33.2	14.1	0.3
	50～59歳	364	12.1	43.1	34.1	10.4	0.3
	60～69歳	447	10.7	42.5	33.8	12.1	0.9
	70～79歳	468	9.6	44.9	36.1	7.3	2.1
	80～89歳	209	12.4	42.1	30.1	8.6	6.7
	90歳以上	44	11.4	45.5	22.7	15.9	4.5
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	-	-
世帯におけ る自力避難 困難者の 有無	いる	432	15.3	37.3	31.9	14.8	0.7
	いない	1831	11.1	44.6	31.8	11.0	1.4
	無回答	9	-	33.3	33.3	-	33.3

### (3) 避難判断のきっかけ

問23 災害時にあなたや家族が避難を判断するきっかけとしているものについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「市の発令する避難情報(高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保)」が71.2%と最も割合が高く、次いで「雨の降り方・台風の予想進路など」が59.9%、「家族の呼びかけ」が33.5%となっている。

図19：避難判断のきっかけ [複数回答]



回答者数

全体	指(市の発令する避難情報)	雨の降り方・台風の予想進路など	家族の呼びかけ	近所の呼びかけ	その他(消防団・民生委員など)	無回答
2272	1618	1360	761	434	390	33
100.0	71.2	59.9	33.5	19.1	17.2	1.5

表25：避難判断のきっかけ〔複数回答〕（クロス集計）

		全体	市の発令する避難情報（高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保）	雨の降り方・台風の予想の進路など	家族の呼びかけ	近所の呼びかけ	その他（消防団・民生委員など）	無回答
全体		2272	1618	1360	761	434	390	33
		100.0	71.2	59.9	33.5	19.1	17.2	1.5
居住地①	中央地区	242	77.7	58.3	27.7	16.1	11.6	1.2
	上町地区	128	68.0	59.4	28.1	21.1	20.3	3.9
	磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松	2	50.0	50.0	-	-	50.0	-
	鴨池地区	343	67.9	58.3	31.8	15.5	18.1	1.2
	城西地区	153	77.1	66.7	30.7	20.9	19.6	0.7
	武・田上地区	197	74.1	57.4	37.1	13.7	18.8	1.5
	谷山北部地区	255	74.9	57.6	34.9	23.5	19.6	1.2
	谷山地区	348	69.8	62.9	37.1	19.0	11.5	1.7
	伊敷地域	189	69.8	61.4	33.3	25.4	15.3	0.5
	吉野地域	203	69.0	60.6	36.9	21.2	17.7	1.0
	桜島地域	15	93.3	40.0	40.0	13.3	46.7	-
	吉田地域	32	71.9	56.3	21.9	18.8	15.6	3.1
	喜入地域	44	77.3	68.2	36.4	20.5	20.5	2.3
	松元地域	66	54.5	45.5	30.3	16.7	25.8	1.5
	郡山地域	24	58.3	79.2	62.5	25.0	25.0	-
無回答	31	58.1	61.3	29.0	16.1	22.6	6.5	
居住地②	旧鹿児島市	2060	71.8	60.1	33.4	19.2	16.5	1.4
	合併5町域等	181	66.9	56.9	35.4	18.8	24.3	1.7
	無回答	31	58.1	61.3	29.0	16.1	22.6	6.5
居住地の災害リスク	土砂災害(特別)警戒区域	530	70.8	61.7	36.4	22.6	21.7	1.3
	洪水浸水想定区域	547	71.7	67.3	27.8	18.3	16.8	1.1
	津波浸水想定区域	210	76.2	57.1	29.5	21.0	16.7	1.4
	原子力災害	9	33.3	66.7	77.8	33.3	44.4	-
	火山災害(桜島島内)	15	93.3	40.0	40.0	13.3	46.7	-
	いずれも該当しない	1140	70.9	57.1	35.7	18.6	15.8	1.4
	無回答	57	70.2	56.1	21.1	19.3	17.5	5.3
年齢	16～19歳	61	59.0	36.1	47.5	24.6	16.4	-
	20～29歳	135	73.3	45.9	34.1	14.1	8.9	-
	30～39歳	200	75.0	60.0	36.5	20.5	13.5	-
	40～49歳	340	72.4	59.4	38.8	25.0	19.1	-
	50～59歳	364	71.7	61.3	31.9	17.6	16.8	0.8
	60～69歳	447	72.3	61.7	29.1	14.8	16.6	0.4
	70～79歳	468	70.3	66.2	31.6	20.1	19.7	2.6
	80～89歳	209	68.9	57.4	31.6	18.7	18.2	6.7
	90歳以上	44	63.6	50.0	45.5	22.7	25.0	4.5
	無回答	4	50.0	75.0	25.0	25.0	-	-
世帯における自力避難困難者の有無	いる	432	71.8	56.5	37.3	21.1	18.8	1.4
	いない	1831	71.1	60.7	32.7	18.7	16.8	1.4
	無回答	9	66.7	44.4	11.1	-	11.1	22.2

## 6. その他(ご意見、ご要望など)

### (1) 本アンケートや鹿児島市の防災への取組に関するご意見、ご要望

問24\_その他、このアンケートや鹿児島市の防災の取組などに関して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

#### 自由意見の主な分類

防災行政無線全般について	36件	ハザードマップについて	13件
防災行政無線の縮小・廃止について	3件	町内会・地域コミュニティについて	11件
防災行政無線の現状維持・拡充について	22件	自助・共助について	15件
災害時の情報収集全般について	42件	公共インフラについて	14件
避難の方法・タイミングについて	31件	市政等について	30件
避難所について	46件	アンケートについて	19件
備蓄・非常持出品について	19件	その他	33件

自由意見で多かったのは、避難所について(46件)、災害時の情報収集手段について(42件)、防災行政無線全般について(36件)、避難の方法・タイミングについて(31件)であった。

以下に、分類ごとの意見を抜粋して掲載する。

#### ■防災行政無線全般について

- ・防災行政無線の屋外スピーカーの音声は台風や降灰、大雨時にはサッシを閉めると内容はよくわからないです。(60代、上町地区)
- ・鹿児島市役所が放送で大雨のことを流してくるのですが、うるさくて迷惑です。スマホやTVで大雨の情報は分かるので、放送しないでほしいです。(40代、谷山地区)
- ・子供が遊びに行き、帰る時間が分かるように時報放送(夕方)は続けて欲しいです。(40代、谷山地区)
- ・とにかく防災行政無線のスピーカーの声、何も意味がわからないほど何も聞こえない!ファンファンして……どうしてあんなに聞き取れないのか不思議で意味が無い!(70代、谷山北部地区)
- ・防災無線は雨や風向きにもよりますが、本当に聞き取れず、意味はないと思います。閉めきった室内にいれば、訓練放送があるとわかっていても聞こえません。いっそのこと、戸別受信機を全戸に置いてもいいのではないのでしょうか?(30代、谷山地区)
- ・現状、防災無線が大雨等で内容が全く聞こえない為不安をおおるだけになっています。(50代、谷山北部地区)

#### ■防災行政無線の縮小・廃止について

- ・防災無線と携帯、両方なると結構うるさいということで防災無線を通常は止めている所もあるようですが、維持メンテナンスにお金がかかるようであれば無くしても良いのでは?代わりに地区の町内会消防団などで人力で回った方が有効なのは。(70代、谷山北部地区)
- ・防災無線などに予算を組むようなら、防災グッズを予算化して最低必要な物を少しでも支給してほしい。(80代、地域無回答)
- ・屋外スピーカーが自宅すぐ近くにありますが、仕事で在宅している事が少ないですがたまに在宅中の時報、放送は音量がとても大きく驚いてしまうほどです。保守、更新に維持費もかかるのであれば撤去を考えてよいのでは、と思います。(50代、喜入地域)

## ■防災行政無線の現状維持・拡充について

- ・高年齢につき、携帯電話(通話のみ)スマートフォンの使い方が分からない。防災行政無線の屋外スピーカーが一番良い。(70代、吉野地域)
- ・防災無線は必要だと思う。緊急速報メールだけだと慣れてしまい避難の重要性が薄れてしまうと思う。(40代、伊敷地域)
- ・スマホを持たない小学生等(共働き世代のお留守番中の)が防災無線を頼りにすると思います。(40代、谷山北部地区)
- ・日頃の情報収集はほぼスマートフォンに頼っていますが、災害時だからこそ頼れない(充電切れ、紛失、故障)場合もあると思うので、防災行政無線の屋外スピーカーは重要だと思っています。(40代、伊敷地域)
- ・防災無線について、自身は他の手段で情報を得られるため必要としていません。しかし、時報を含めて必要と思う方、他に情報を得る手段のない方がたとえ少なくとも存在するなら残して欲しいと考えます。(30代、城西地区)

## ■災害時の情報収集全般について

- ・近くに永田川があり、大雨がひどい時心配になります。防災無線に耳を傾けてはいますが「水位がどう」という内容はなく、手のかかる子どももいて見に行くことも簡単ではないので河川情報を知りたいです(定点カメラで見たい時に見れるシステムなどあったら安心です)。(40代、谷山地区)
- ・緊急速報メールは災害リスクの高い所を除き午前0時～4時5時頃までは送らないでほしいです。(70代、鴨池地区)
- ・スマホへの災害時緊急通知は広範囲を対象に通知され、関係ない事が多いと「オオカミ少年」になっており、「またか、でも、関係ない」と捉えがち。かなり技術的には厳しいと思うが、避難を対象とした限定的な通知が可能であれば、市民感情的にも有効と考える。(60代、鴨池地区)
- ・現在はフェイク情報も多いので、難しいところですが、とりあえず NHK や警察の X を参考にしています。鹿児島市公式 X が色々な情報を発信してもらえたら助かると思います。(50代、谷山北部地区)
- ・聴覚障害者に関わる仕事をしています。聞こえない方への避難指示伝達方法なども配慮していただきたい。(50代、城西地区)
- ・戸別受信機は日常は必要ないが災害期は必要だと思う。近所の一人暮らしの実母が戸別受信機や屋外のサイレン、携帯の緊急速報メール等の情報で避難行動している。少ない伝達手段よりも災害時は老若男女誰でも危険を感じられるよう、あらゆる伝達手段があっていいと思う。(60代、郡山地域)

## ■避難の方法・タイミングについて

- ・母が一人暮らしだが公共の避難場所が遠すぎて、急に何かという時には動けない。こういう時はタクシーも来てくれない。「急」な時の高齢者の避難の「アシ」が欲しい。竜ヶ水地区みたいに地域で移動できたらよいなあと。(50代、鴨池地区)
- ・桜島が大噴火したらどうしたらいいかわからない。島内は避難訓練があるようですが、たまたま桜島にいた場合や、鹿児島本港など沿岸部にいた場合どこに避難すればよいのでしょうか？(30代、地域無回答)
- ・避難指示が出ても一度も避難したことはなく、一度も被害が出ていないので、避難指示に本当に従うべきか判断が難しい。(40代、谷山北部地区)
- ・自然災害も心配ですが、川内原発で事故がおきると避難できず、終わりのない災害になってしまう事も予想され、大変気がかりです。(80代、谷山地区)
- ・緊急時の避難の際、ホテルを利用する時は全て無料にして欲しい。(50代、中央地区)

## ■避難所について

- ・独居の高齢者の方を避難所では優先した方が良く考えているので、ギリギリまで自宅待機を選んでいきます。住民の数より避難場所の大きさ(規模)が絶対的に足りない。(50代、谷山北部地区)
- ・障害がある為、一般の方と同じ避難場所ではなく養護学校等を一般の方と分けて避難場所を使えるようにして欲しいです。(30代、吉野地域)
- ・猫を飼っているので、猫と一緒に避難できる場所を増やしてほしいです。(50代、松元地域)
- ・避難所での女性や子どもへの配慮がどうなっているのかが分からず、避難所への避難をためらいます。避難所の中がどうなっているのかを、より具体的に詳しく発信していただけたら安心です。(40代、武・田上地区)
- ・トイレの整備をしていた方がいい、数が足りないと思う。人が集まればトイレは大変なことになると思う。日頃から整備していた方がいいと思う。(40代、中央地区)
- ・避難場所となっている体育館は、夏場は暑いためエアコンを完備した方がいいと思われる。(40代、鴨池地区)

## ■備蓄・非常持出品について

- ・防災備品の貯蓄基地を各町の空家を利用して準備してほしい。(60代、伊敷地域)
- ・喀痰吸引器や電動ベッドを使用している要介護の母を介護しています。停電によって福祉用具が使用できなくなったり、断水によって清潔にできなくなる可能性があり心配です。いざという時に使用できる発電器や、生活用水をキレイにして再度使用できる方法があれば知りたいです。(70代、谷山地区)
- ・災害に備えた備蓄品3回分くらいを市が提供してほしいです。(20代、吉野地域)
- ・各公民館に災害時持ち出し用品の見本品か、大きなポスターが貼られているといいと思う。回覧板にも、ゴミの分別のように、災害時の持ち出し用品の案内(絵つき)などを入れて配り、各家庭に貼り出し、いつも見ていることができたら意識が高まると思う。(60代、谷山地区)

## ■ハザードマップについて

- ・地域ごとの近くの避難マップみたいな紙が外の掲示板に貼ってあると、どこに逃げたらいいか分からない人にもわかる様な気がする。(20代、伊敷地域)
- ・鹿儿島市の防災マップはやや見づらいです。いろいろ盛りこみたいのはわかります。必要なことばかりだと思いますが、防災マップは別の冊子にして防災マップの見方を具体的に説明を添えてありますと、初めて見る者でもパッとわかりやすくなるのではないのでしょうか。(50代、城西地区)
- ・かごしまiマップが見難い。デジタルを使用するなら住所を入力したら該当する災害リスクが表示され、各々のリスクに対応した避難所が検索出来る様になっていないと見ようとは思わない。(40代、鴨池地区)

## ■町内会・地域コミュニティについて

- ・町内会単位で市の防災の取組について出前講習を年1回程度は必要じゃないでしょうか(町内会の行事の機会をとらえて)。(80代、谷山地区)
- ・地域では、非自治会員が増加傾向にあります。どのように連携したものか、個人情報保護法の壁、自己中心的考え方等、防災を進めるうえでの悩みが日々増えています。(60代、郡山地域)
- ・私の区域では町内会で毎年防災訓練が行われていますので避難場所、隣近所の声かけなどすることを把握しています。(80代、伊敷地域)
- ・1人暮らしの老人など要支援世帯の情報は自治会ごとに作成しておき、各班の班長は常時把握しておいて、いざという時の早期対応に役立てて頂きたいと思います。(年代無回答、城西地区)

## ■自助・共助について

- ・高齢者や障害のある方、小さなお子様のいる家庭など避難することに躊躇する事のない様に、協力しながら避難できるよう、日頃から意識づけし、声かけ出来る体制が必要だと思う。(50代、吉野地域)
- ・避難訓練や防災知識どちらも必要とされるレベルに自身が到底足りるとは思わずにいます。小さい子供達をどうやって災難から守ることが出来るだろうか。又何日もそこから生きながらえる為に耐えしのげるだろうかと考えています。(40代、谷山北部地区)
- ・昔と違って個人情報観点から近所との関係が希薄すぎるためにいざという時に助け合って避難するとかいうのも難しい。下手したら隣りに住んでる人の名前すら知らなかったりする。各地域で特に被害が出そうな場所のコミュニティの連携を図れるようもっと積極的な災害対策を求めます！(50代、谷山北部地区)

## ■公共インフラについて

- ・都市化が進む中、降雨がそのまま路面→側溝→川へと流れている地域が増えている中、側溝の断面を大きくする必要がある地域が増えていると思われる。降雨強度等による基準はあると思われるが、検討出来ないものでしょうか。(60代、城西地区)
- ・鹿児島市は道路の老朽化も著しいです。発災時の避難や救助、減災のためにも道路整備も進めていっていただきたい。特に古くからある住宅街の道路はボロボロです。(40代、鴨池地区)
- ・側溝のところから草や木(花)などが生えているところが多い。自分たちでは開けられないため、流れが悪くなると困るので、市の方で点検見回りをして処理をお願いします。(50代、中央地区)

## ■市政等について

- ・レッドゾーンに家族が住んでいるが、住宅を建て替えるのに補助金を検討してもらいたい。家の購入時には開発時の条件をクリアされて売り出されているため、令和3年の土砂災害指定には納得できない。説明もなかった。住宅にばかり負担を求めるのはおかしい。(70代、武・田上地区)
- ・ウォーターフロントパークには桜島の噴火に備えた避難所、観測所を兼ねた施設(太陽光発電や風力発電も利用して非常時も稼働可能)があるといいと思う。(40代、城西地区)
- ・ラインで情報提供や意見交換できると市とよい関係ができて信頼が厚くなる。(60代、中央地区)
- ・私は、岡之原町に住んでいます。この地域は、範囲の広い地域で、この調査では、吉野地域に属しているようです。日頃感じているのは、防災面もですが、道路行政なども含め、さらに現実的な地域割をして、取り組んでいただけると有り難いです。(60代、吉野地域)

## ■アンケートについて

- ・防災に係る市民意識の向上は非常に大事な事と思います。このようなアンケートが機会あるごとに行う事は、行政として大事な事だと思います。(70代、鴨池地区)
- ・アンケート依頼をきっかけに主人と防災について話をしました。ありがたい事に今までは避難をしないといけない状況等なかったのほとんど考えていなかった事に気付きました。(60代、中央地区)
- ・災害の多い中、いまだにこんなアンケートを実施することがもったいなくて、意味を感じない。変化に遅れないようにどんどん準備をしていくべきと感じる。(60代、中央地区)
- ・アンケート結果を何らかの方法で報告してほしい。どこを改善したとか。(60代、城西地区)

## ■その他

- ・自宅は比較的安全な所にありますので防災に関してあまり関心がありませんでした。(70代、谷山地区)
- ・原子力災害が30km範囲内としているが川内原発の規模から最悪30km以上は被害は無いのでしょうか。(70代、中央地区)
- ・桜島の大噴火の時に市内で灰が1m~2m積ると聞いています。それがとても心配です。屋根がつぶれることもあると聞いています。何か対策が必要だと思います。(50代、城西地区)
- ・有事の際(ミサイルなど)鹿児島には地下がなさすぎると思います。地下を作って欲しい。(60代、谷山地区)

# III. 卷末資料

## 1. 調査票

### 災害時における防災情報収集等に係る市民意識調査

※あてはまる番号に○をつけてください。カッコ内には適切な言葉をご記入ください。

#### 1 あなた（封書の宛名の方）やお住まいのことについて

問1 あなたのお住まいの地域または地区について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 中央地区
- 2 上町地区（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松を除く）
- 3 磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松
- 4 鴨池地区
- 5 城西地区
- 6 武・田上地区
- 7 谷山北部地区
- 8 谷山地区
- 9 伊敷地域
- 10 吉野地域
- 11 桜島地域
- 12 吉田地域
- 13 喜入地域
- 14 松元地域
- 15 郡山地域

表) 地域・地区別の所属町丁名

中央地域	1. 中央地区	名山市、平之町、東千石町、西千石町、中町、金生町、照国町、泉町、住吉町、堀江町、大黒町、呉服町、新町、船津町、城南町、松原町、南林寺町、甲突町、錦江町、新屋敷町、磯之口町、山之口町、千石町、加治屋町、中央町、上之園町、上荒田町
	2. 上町地区 (吉野町の一部(磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松)を除く)	坂元町、西坂元町、東坂元1~4丁目、清水町、紙園之洲町、鼓川町、池之上町、稲荷町、春日町、柳町、浜町、上竜尾町、下竜尾町、冷水町、長田町、大竜町、上本町、小川町、本港新町、易居町、山下町、城山町、玉里田地1~3丁目、若葉町
	3. 磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松	
	4. 鴨池地区	高麗町、荒田1~2丁目、与次郎1~2丁目、下荒田1~4丁目、天保山町、鴨池新町、鴨池1~2丁目、唐湊3~4丁目、郡元町、郡元1~3丁目、南郡元町、東郡元町、真砂町、真砂本町、三和町、南新町、日之出町、紫原1~6丁目、西紫原町、桜ヶ丘7~8丁目、宇留1~9丁目、中央港新町、新栄町、向陽2丁目
	5. 城西地区	城山1~2丁目、新照院町、草牟田町、草牟田1~2丁目、玉里町、永吉1~3丁目、明和1~5丁目、原良町、原良~7丁目、薬師1~2丁目、城西1~3丁目、鷹師1~2丁目、常盤町、常盤1~2丁目、西田1~3丁目
	6. 武・田上地区	武1~3丁目、唐湊1~2丁目、紫原7丁目、向陽1丁目、広木1~3丁目、田上町、田上1~8丁目、田上台1~4丁目、西別府町、武岡1~6丁目、西陵1~8丁目、小野町の一部(西之谷)
谷山地域	7. 谷山北部地区	五ヶ別府町、星ヶ峯1~6丁目、皇徳寺台1~5丁目、山田町、中山町、中山1~2丁目、自由ヶ丘1~2丁目、桜ヶ丘1~6丁目、小原町、魚見町、東谷山1~7丁目、清和1~2丁目、希望ヶ丘町、小松原1~2丁目、東開町
	8. 谷山地区	西谷山1~4丁目、清和3~4丁目、上福元町、谷山中央1~8丁目、下福元町、慈眼寺町、和田1~3丁目、平川町、御本町、南栄1~6丁目、七ヶ島1~2丁目、谷山港1~3丁目、錦江台1~3丁目、坂之上1~8丁目、光山1~2丁目
	9. 伊敷地域	伊敷町、伊敷1~8丁目、伊敷台1~7丁目、西伊敷1~7丁目、千年1~2丁目、花野光ヶ丘1~2丁目、下伊敷町、下伊敷1~3丁目、小野町(西之谷を除く)、小野1~4丁目、犬追町、小山田町、皆与志町
	10. 吉野地域	岡之原町、緑ヶ丘町、川上町、下田町、吉野町(磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松を除く)、吉野1~2丁目、大明丘1~3丁目
	11. 桜島地域	桜島赤水町、桜島赤生原町、桜島小池町、桜島西道町、桜島白浜町、桜島武町、桜島藤野町、桜島二俣町、桜島松浦町、桜島横山町、新島町、野尻町、持木町、東桜島町、古里町、有村町、黒神町、高免町
	12. 吉田地域	西佐多町、東佐多町、本城町、本名町、宮之浦町、半礼園1~3丁目
	13. 喜入地域	喜入瀬々区町、喜入中名町、喜入生見町、喜入前之浜町、喜入町、喜入一倉町
	14. 松元地域	石谷町、入佐町、上谷口町、直木町、春山町、福山町、松陽台町、四元町、平田町
	15. 郡山地域	花尾町、有屋田町、川田町、郡山町、郡山岳町、西俣町、東俣町、油須木町

問2 (問1でお答えいただいた) お住まいの住所(自宅)の災害リスクについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 土砂災害(特別)警戒区域(山や崖に近い場所など)
- 2 洪水浸水想定区域(河川に近い場所など)
- 3 津波浸水想定区域(海岸に近い場所など)
- 4 原子力災害(郡山地域の一部(川内原発から概ね30kmの範囲内))
- 5 火山災害(桜島島内)
- 6 いずれも該当しない

【参考】災害リスク(上記選択肢1~3)については、「かごしま i マップ(防災マップ)」でご確認いただけます。



かごしま i マップ(防災マップ)では、市全域の洪水浸水想定区域や土砂災害(特別)警戒区域、指定緊急避難場所等の最新の情報を確認できます。



かごしま i マップ 検索

問3 あなたの年齢について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 16~19 歳 | 2 20~29 歳 | 3 30~39 歳 |
| 4 40~49 歳 | 5 50~59 歳 | 6 60~69 歳 |
| 7 70~79 歳 | 8 80~89 歳 | 9 90 歳以上  |

## 2 あなた(封書の宛名の方)の世帯について



問4 あなたの世帯について、災害時に自力で避難することが難しい人がいるか、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 いる
- 2 いない





問7 大雨や台風などの災害時に、どの方法で防災情報（避難情報、緊急地震速報等）を入手しているかについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 テレビ（データ放送含む）
- 2 ラジオ（3の鹿児島市防災ラジオは除く）
- 3 鹿児島市防災ラジオ
- 4 緊急速報メール（携帯電話・スマートフォン）
- 5 鹿児島市ホームページ
- 6 鹿児島市 LINE 公式アカウント
- 7 鹿児島市広報課 Facebook
- 8 鹿児島市公式 X（旧 Twitter）
- 9 安心ネットワーク 119
- 10 防災行政無線の屋外スピーカー
- 11 防災行政無線の戸別受信機
- 12 防災行政無線自動電話案内サービス
- 13 防災行政無線 FAX 配信サービス
- 14 民間事業者等による防災情報通知サービス（防災アプリ等のインストール（Yahoo!防災速報等）、LINE スマート通知設定、Kago Tips 等）
- 15 その他（ ）

問8 鹿児島市が提供するサービスのうち、あなたが登録、保有またはフォロー等しているサービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 鹿児島市防災ラジオ
- 2 鹿児島市 LINE 公式アカウント
- 3 鹿児島市広報課 Facebook
- 4 鹿児島市公式 X（旧 Twitter）
- 5 安心ネットワーク 119
- 6 防災行政無線の戸別受信機
- 7 防災行政無線 FAX 配信サービス
- 8 該当なし

問9 他都市で導入されているサービスに「一斉架電システム（詳細は下記の【参考】をご覧ください）」というものがありますが、これについてどう思われますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【参考】一斉架電システム

一斉架電システムとは、登録メールや FAX 配信サービスのように、あらかじめ登録された電話番号（自宅の固定電話や携帯電話・スマートフォン）に対し、災害時に避難情報等を合成音声（機械音声）で届けるサービスのこと。

スマートフォン等を保有しない方などに対して効果的な伝達手段である一方、登録者は多くなればなるほど、情報伝達にかなりの時間を要することとなる。

- 1 有効な情報伝達手段と思う
- 2 どちらかといえば有効な情報伝達手段と思う
- 3 どちらかといえば有効な情報伝達手段とは思わない
- 4 有効な情報伝達手段とは思わない



#### 4 防災行政無線の屋外スピーカーについて



本市のデジタル防災行政無線設備は、平成 24 年度～26 年度にかけて市内全域に整備し、平成 27 年度から運用を開始しており、設備の経年による老朽化のため、故障や不具合のリスクが増大するとともに、今後、設備の保守・更新に多額の費用が見込まれています。



問 10 日頃の防災行政無線の屋外スピーカーからの時報放送の聞こえ具合について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。(屋内の防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等からの放送の聞こえ具合は含みません。)

- 1 いつもよく聞こえる
- 2 いる場所（屋内など）によっては聞こえづらいことがある
- 3 ほぼ聞こえない・全く聞こえない

#### 【参考】防災行政無線の屋外スピーカーからの時報放送

	放送時間	放送する地域	
		本庁、谷山・伊敷・吉野支所管内	吉田・桜島・喜入・松元・郡山支所管内
時報（昼） 鹿児島市民歌	正午		○
時報（夕方） 夕焼け小焼け	午後5時 (1～6月、9～12月)	○	○
	午後6時 (7～8月)	○	○

問 11 日頃の防災行政無線の屋外スピーカーからの時報放送について、あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 昼（正午）の時報は放送してほしい ※吉田・桜島・喜入・松元・郡山支所管内のみ
- 2 夕方（午後 5 時または午後 6 時）の時報は放送してほしい
- 3 時報は放送しなくてもよい

問 12 日頃の防災行政無線の屋外スピーカーからの試験・訓練放送の音声について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。(屋内の防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等からの放送の聞こえ具合は含みません。)

- 1 内容がいつもよく聞こえる
- 2 いる場所(屋内など)によっては聞こえづらいことがある
- 3 何か放送が流れていることは分かるが、内容はほとんど聞こえない
- 4 ほぼ聞こえない・全く聞こえない

【参考】防災行政無線の屋外スピーカーからの主な試験・訓練放送(令和5年度・下半期)

R5.11.2 (木) 10:00~	緊急地震速報訓練	
R5.11.11 (土) AM	桜島火山爆発総合防災訓練に係る訓練放送	※桜島地域のみ
R5.11.15 (水) 11:00~	Jアラート全国一斉情報伝達試験	
R6.2.9 (金) 11:00~	Jアラート全国一斉情報伝達試験	
R6.2.10 (土) AM	原子力防災訓練	※郡山地域のみ

問 13 大雨や台風の際、防災行政無線の屋外スピーカーからの避難指示等の音声放送の聞こえ具合について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。(屋内の防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等からの放送の聞こえ具合は含みません。)

- 1 内容がいつもよく聞こえる
- 2 いる場所(屋内など)によっては聞こえづらいことがある
- 3 何か放送が流れていることは分かるが、内容はほとんど聞こえない
- 4 ほぼ聞こえない・全く聞こえない

【参考】防災行政無線の屋外スピーカーからの避難等に関する放送(令和5年度)

R5.7.3 (月) 大雨警報	14:35	避難指示(吉田・郡山地域のみ)
	14:55	避難指示(中央・伊敷・吉野地域のみ)
	15:05	高齢者等避難(桜島地域のみ)
	17:20	避難指示(谷山・桜島・松元地域のみ)
R5.8.8 (火) 台風第6号	10:00	高齢者等避難(市内全域)
	16:00	避難指示(市内全域)

問 14 現在、スマートフォンなどの情報通信技術の進展等により防災情報の収集手段は充実してきています。あなたは防災行政無線の屋外スピーカーについて、今後も設置が必要であると考えますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。(屋内の防災行政無線の戸別受信機や防災ラジオは含まず、あくまで屋外スピーカーについてのみお答えください。)

- 1 スマートフォンなどの情報収集手段が充実しているため、撤去してもよい
- 2 屋外スピーカーからの放送が聞き取りにくいいため、撤去してもよい
- 3 災害の危険度が高い一部区域は設置を継続してほしい
- 4 現状のまま設置を継続してほしい
- 5 現状よりも設置場所を増やしてほしい



## 6 食料や生活用品などの備蓄・非常持出品について



電気やガス、水道などが止まった場合に備えて最低3日分、できれば1週間分の備蓄が望ましいとされています。普段食べているカップ麺や缶詰、インスタント味噌汁などを少し多めに買い置きし、消費しながらストックする「ローリングストック」がおすすめです。

また、避難場所で1～2泊できるくらいの水や食料、生活用品を自宅から持ち出せるよう、非常用持出袋・バッグなどにまとめておきましょう。

### 【非常持出品の例】

・現金（小銭含む） ・健康保険証 ・食料（缶詰等） ・衣類 ・タオル ・毛布  
・懐中電灯 ・携帯ラジオ ・救急用品 ・ミルク ・オムツ ・生理用品 ・常備薬 など

問18 災害に備えた備蓄をしていますか？ あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 3日分以上備蓄している → 問19へ
- 2 3日分はないが、少しは備蓄している → 問19へ
- 3 今は備蓄していないが、今後、備蓄予定 → 問19へ
- 4 備蓄する予定はない → 問20へ

### 【問18で1～3と回答された方のみ】

問19 備蓄している（備蓄する予定）ものについてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 食料や飲料水
- 2 携帯用トイレなどの生活用品
- 3 卓上カセットコンロ（ガスボンベ）
- 4 その他( )

### 【問18で「4 備蓄する予定はない」と回答された方のみ】

問20 あなたが備蓄しない理由として一番あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 近いうちに大きな災害が起きる可能性は低いと思うから
- 2 備蓄しなくても避難所に行けば何とかかなと思うから
- 3 消費期限の管理が大変だから
- 4 忙しくて用意する時間がないから
- 5 用意する費用がかかるから
- 6 その他( )

## 7 災害が起きた（起きるおそれがある）時の避難について



市では、土砂災害や洪水による浸水のおそれがある場所、避難のポイントなどを掲載した「防災ガイドマップ（ハザードマップ）」を令和3年6月に全戸配布し、最新の情報を「かごしまiマップ（防災マップ）」や市ホームページで公開しています。

また、毎年6月に全戸配布している「防災リーフレット」などで、市が指定する避難所（兼緊急避難場所）の場所などをお知らせしています。

問21 自宅のある場所が、災害の危険があるか（色が塗られているか）確認していますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 「防災ガイドマップ」又は「かごしまiマップ」を見て確認している
- 2 「防災ガイドマップ」は家にあるが、自宅付近に色が塗られているかは見ていない
- 3 どちらのマップも確認していない

問22 災害時にあなたや家族が避難する場所はどこですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 親戚や知人宅、ホテルなど
- 2 市が指定した避難所（学校や公民館など）
- 3 自宅避難する（自宅が安全な場所にあることをハザード（防災）マップで確認済み）
- 4 避難場所が決まっていない（避難所の場所がわからない、避難所が遠く避難に時間がかかる、連れていってくれる人がいない など）

問23 災害時にあなたや家族が避難を判断するきっかけとしているものについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 市の発令する避難情報（高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保）
- 2 雨の降り方・台風の予想進路など
- 3 家族の呼びかけ
- 4 近所の呼びかけ
- 5 その他（消防団・民生委員など）

8 その他（ご意見、ご要望など）



問 24 その他、このアンケートや鹿児島市の防災の取組などに関して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

[Empty space for writing answers]



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。  
お手数ですが、返信用封筒に入れてご返送ください。

災害時における防災情報収集等に係る市民意識調査  
調査結果報告書

令和7年1月 発行

調査主体:鹿児島市 危機管理局 危機管理課

〒892-8677 鹿児島市山下町 11 番 1 号

TEL 099-216-1213

調査協力:株式会社サーベイリサーチセンター南九州事務所

〒860-0804 熊本市中央区辛島町 8 番 23 号

TEL 096-324-5370